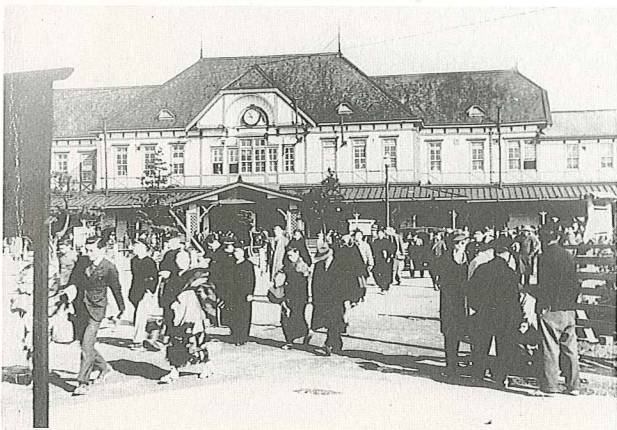
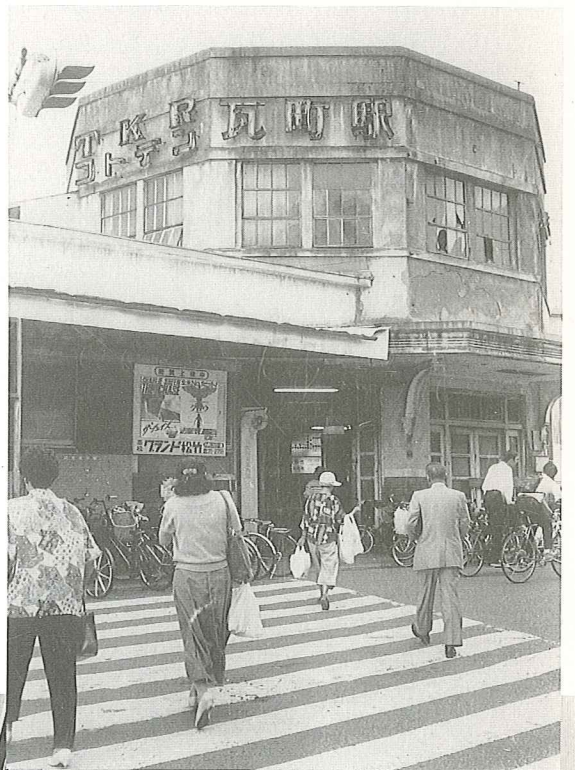


# 第18回 東京玉翠会

平成12年7月1日 (土)

17:00~19:00

東京プリンスホテル  
鳳凰の間



## ◆ 目 次 ◆

|                              |    |
|------------------------------|----|
| テーマ .....                    | 2  |
| 式次第 .....                    | 3  |
| 平成11年度収支計算書(案) .....         | 4  |
| <br>ごあいさつ                    |    |
| 玉翠会会長 多田野 久 .....            | 5  |
| 高松高等学校長 秋山 忠 .....           | 6  |
| 東京玉翠会会長 辻 義文 .....           | 8  |
| <br>在学時代の思い出で綴る20世紀          |    |
| 高高と世の中の20世紀年表 .....          | 9  |
| S4卒 松浦三知子 .....              | 15 |
| S5卒 南保とみ子 .....              | 16 |
| S14卒 宮井仁之助 .....             | 18 |
| S15卒 堤 久子 .....              | 19 |
| S22卒 三好 健夫 .....             | 20 |
| S25卒 川添 和夫 .....             | 22 |
| S35卒 大西 恭子 .....             | 25 |
| S45卒 池上 晴英 .....             | 26 |
| S55卒 池上 茂 .....              | 27 |
| H3卒 吉野ユリ子 .....              | 28 |
| 現役 第101代生徒会長 佐藤 周 .....      | 29 |
| 現役 野球部主将 中井 宏 .....          | 30 |
| 現役 二年某クラスのHR日誌から .....       | 32 |
| <br>ジャズサクソフォーン奏者 多田氏紹介 ..... |    |
| 34                           |    |
| <br>同好会・愛好会等紹介               |    |
| ゴルフ同好会 .....                 | 35 |
| タイムカプセル開封式実行委員会 .....        | 36 |
| 囲碁同好会 .....                  | 38 |
| 美術愛好会 .....                  | 40 |
| 高高神田会 .....                  | 42 |
| インターネット研究会 .....             | 44 |
| 玉翠倶楽部 .....                  | 46 |
| <br>各地の玉翠会だより                |    |
| 関西玉翠会 .....                  | 48 |
| 岡山玉翠会 .....                  | 50 |
| 徳島玉翠会 .....                  | 52 |
| <br>校歌・校友会の歌 .....           |    |
| 東京玉翠会役員名簿 .....              | 54 |
| 東京玉翠会高中部会幹事名簿 .....          | 59 |
| 東京玉翠会晩翠部会幹事名簿 .....          | 62 |
| 東京玉翠会高高部会幹事名簿 .....          | 64 |
| 寄贈図書目録 .....                 | 67 |
| 物品寄贈会社 .....                 | 74 |
| 東京玉翠会会則 .....                | 59 |
| 東京玉翠会高中部会幹事名簿 .....          | 64 |
| 東京玉翠会高高部会幹事名簿 .....          | 68 |
| 物品寄贈会社 .....                 | 75 |

## — テーマ —

# 「20世紀のフィナーレ そして21世紀へ ～ 歴史と未来を語りあう夕べ」

本年も、東京玉翠会の総会が巡って参りました。

本年は西暦2000年すなわち20世紀の掉尾を飾る年に当たっています。私たちを取り巻く情勢は、残念ながらまだまだ楽観を許しませんが、その一方で新しい世紀を目前にしているということ、それ自体に高揚感を感じていることも事実です。

高中、県女の両校とも創立は19世紀でしたが、その後10年を経ずして20世紀を迎えています。すなわち、世紀半ばの学制改革を経て現在の高高に至る母校の輝かしい伝統は、草創期の数年間を除いて大半が20世紀に築きあげられたものなのです。

本日出席の皆さま方には、20世紀とともに歩んできたと言ってもよい母校の歴史を振り返り、そこに皆さま方各々の歩みを重ね合わせることで、20世紀という世紀の持つ意味、ご自分とのかかわり合いを改めて確認していただければと思います。それと同時に、単なる懐古趣味にとどまることなく、来るべき新世紀に思いを馳せ、東京玉翠会のそして皆さま方のさらなる飛躍、発展の夢を語りあう場としていただければと考えています。

今回の総会テーマには、このような願いを込めました。

どうか時間の許す限り、大いに食べ、飲み、かつ、卒業年次の枠を超えておしゃべり下さい。先輩諸氏は後輩諸君をつかまえて一席ぶって下さい。後輩諸君も言われ放しではなく、思うところをぶつけてみて下さい。そして最後に肩を組み高らかにお歌い下さい。私たちは同窓生であり、ここには俗な利害関係はありません。

会場のあちらこちらで生まれた熱気を集めて大きなパワーとし、東京玉翠会を21世紀に向けて打ち上げましょう。

表紙は、琴電瓦町駅舎とJR高松駅舎の以前と現在の写真です。四国新聞社様より拝借し掲載させていただきました。ご協力有難うございました。

## 式 次 第

### 一、 開会の辞

### 一、 東京玉翠会会長挨拶

### 一、 議 事

会計報告

監査報告

### 一、 来賓紹介

### 一、 来賓挨拶

高松高等学校長 秋山 忠 先生

玉 翠 会 会 長 多田野 久 氏 (昭和25年卒)

### 一、 乾 杯

香 川 県 知 事 真鍋 武紀 氏 (昭和34年卒)

### 一、 懇談会次第

1. 写真による学生生活の振り返り
2. 卒業生音楽家によるジャズ演奏
3. お楽しみ抽選会
4. 母校図書購入資金贈呈
5. 次回総会担当幹事 (昭和52年卒) 紹介
6. 応援歌・校歌斉唱

### 一、 閉会の辞

平成11年度収支計算書（案）

自 平成11年4月1日  
至 平成12年3月31日

東京玉翠会  
会長 辻 義文

〈特別会計〉

| 支出の部     |            | 収入の部    |            |
|----------|------------|---------|------------|
| 科目       | 金額（円）      | 科目      | 金額（円）      |
| 会場使用料    | 4,942,763  | 総会出席会費  | 5,379,000  |
| 会場運営費    | 1,603,307  | 男性 513人 |            |
| 総会準備費    | 2,119,944  | 女性 279人 |            |
| 母校寄付金    | 150,000    | 寄付金収入   | 290,000    |
| プログラム制作費 | 1,135,102  | 雑収入     | 4,890,631  |
| 一般会計への繰入 | 608,515    |         |            |
| 合計       | 10,559,631 | 合計      | 10,559,631 |

〈一般会計〉

| 支出の部   |            | 収入の部     |            |
|--------|------------|----------|------------|
| 科目     | 金額（円）      | 科目       | 金額（円）      |
| 支部交付金  | 381,000    | 前期繰越金    | 8,898,472  |
| 通信費雑費  | 37,085     | 年会費      | 871,000    |
| 次年度立替金 | 800,000    | 預金利子     | 10,125     |
| 次期繰越金  | 9,372,027  | 前年度立替金   | 200,000    |
|        |            | 特別会計より繰入 | 608,515    |
|        |            | 雑収入      | 2,000      |
| 合計     | 10,590,112 | 合計       | 10,590,112 |

次期繰越金

|                        |            |
|------------------------|------------|
| 内訳（イ）百十四銀行東京支店         |            |
| 普通預金 No.125044         | 4,348,360円 |
| 定期預金（通帳式定期）満期 平12.9.7  | 1,708,375円 |
| 定期預金（通帳式定期）満期 平12.6.14 | 2,125,094円 |
| 定期預金（通帳式定期）満期 平12.6.14 | 1,167,426円 |
| （ロ）手持現金                | 22,772円    |
| 合計                     | 9,372,027円 |

脚注 東京高中会並びに晩翠会東京支部よりの受入基金 1,500,000円は、上記定期預金にて運用されています。

上記収支決算書について、監査の結果、適正なる事を認める。

平成12年5月11日

監事 岡内 伸一 (印)  
同 松本 僑子 (印)  
同 鴨田 昭代 (印)



玉翠会 会長  
多田野 久

ごあいさつ

みずみずしかった新緑も、次第に色艶に力を増し、これからの夏にふさわしいたくましさを持ってきたように思われます。そうした夏の香りとともに、今年もまた東京玉翠会が盛大に開催されますことは、何にもまして我々の喜びとするところでございます。まず、準備にあたられた昭和51年卒業の幹事団の方々に心からお礼を申し上げます。

私もかつて東京玉翠会設立のお世話をさせていただきましたが、年1回のこの総会は、ふるさとの地を離れている同窓の皆様方が肩の力を抜いて大いにそれぞれの思いを交換し、明日への活力を養う、誠に貴重な機会と場であると思っております。懐かしい故郷や母校の様子を語り合い、親睦をさらに深めることは、我々にとって安らぎとなり、また励ましとなって明日からの大きなエネルギーを得ることになるでしょう。この会がそのような趣旨に添って開催され、初期の目的を達することになれば、これ以上の喜びはありません。

さて、巷では、茶髪・厚底・ケータイなどに象徴される若者文化の軽薄さが、どうしても目に付き話題となることが多い昨今ですが、新聞紙上でも目を疑うような事件があとを絶ちません。学級崩壊や家庭崩壊などの用語も耳に新しくなくなりつつあります。そのように、教育そのものに対する危機感が声高に叫ばれている中、母校高松高校で学ぶ後輩たちのめざましい活躍ぶりは、我々にとって非常に心強く、また頼もしく感じられるものです。進学の実績はもちろんのこと、野球部の四国大会初出場、走り高跳びでの国体優勝、また囲碁や将棋同好会の全国大会出場などの好成績にみるように、高高の伝統である「文武両道」の精神はしっかりと受け継がれ、実践されています。次代を担う彼らの今後の成長を見守るべく、同窓会としても一層の支援と声援を送りたいと考えております。

玉翠会会長の任を与えられて、はや三年目を迎えました。皆様のおかげで各種行事・活動が円滑に進み、また充実した内容になっていることにここで厚く感謝を申し上げたいと思います。やがて来る新世紀に向け、玉翠会のさらなる発展のために全力を尽くす決意を新たにしております。今後とも、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

終わりにになりましたが、東京玉翠会の皆様のご活躍・ご健勝を心より祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。



香川県立高松高等学校長

秋山 忠

ごあいさつ

「五月の空」「六月の雲」などと季節の移り変わりを気遣っておりましたら、はや今年も下半期を迎え、「七月の風」を感じるようになりました。朱風に明るく夏の訪れを感じるこの季節、東京玉翠会の皆様方には、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、東京玉翠会の総会は第18回を迎え、しかも20世紀最後の開催を記念して、そのテーマに「20世紀のフィナーレそして21世紀へ ～歴史と未来を語り合う夕べ～」ということが掲げられております。先輩・後輩が一堂に会して、母校や故郷のこと、思い出の数々を語り合い、新たな交友を育むとともに来るべき21世紀に向けて大いに英気を養い、玉翠会と会員各位のさらなる飛躍と発展を期するという意気込みが受け取れます。

そこで、高松高校のこの一年を振り返りつつ、生徒諸君の将来への期待を込めて、高高生のモットーであります「文武両道」について取り上げます。学習活動や進路志望等の「文」に関することでは、「学ぶ学校」の実践として毎日1コマ65分の授業を5コマ行い、長期休業日以外は課外授業を行わない、授業中心主義の学習指導を推進しております。生徒諸君も自ら学ぶ姿勢を培い学力を蓄え、いわゆる難関校への合格者数や、大学合格率・進学率等において頼もしい実績を上げています。昨今の高校教育では、教育活動における「多様化」や「個性化」のことが強調されるあまり、教育活動をできるだけ低いハードルのもとに平準化しようとしているとさえ思われます。しかし、高高生には、これからも、その資質や力量、自己実現の将来性などを踏まえて、それぞれのハードルをできるだけ高くして、常に「高く跳ぶ」ことを声高に指導していきたいと考えております。

生徒諸君は、生徒会活動や部活動等の「武」に属することにも意気軒昂な取

組を展開しています。12月の恒例行事「第九・歓喜の歌」演奏発表会は、300名を超える大合唱団と70名に及ぶオーケストラがエネルギッシュな演奏を創り上げ、魂を揺さぶるドイツ語の大合唱がプラザ一杯に響き渡り、今や「第九」は高高の顔となっています。くまもと未来国体の走り高跳びで優勝したり、野球部が昨秋の四国大会に初出場し、今春の県大会でも期待通りの活躍で準優勝したことも特筆されます。女子フェンシング部が今春の全国選抜大会でベスト8に入ったことも併せて、今後大きな期待を寄せております。

ここで申すまでもなく、「文武両道」とは、「独立自主」の精神とともに、本校の前身であります高松中学校の「至誠一貫」と高松高等女学校の「雪持ち笹」の精神を統合した高高スピリットとして高高生が脈々と受け継ぎ、実践してきたものであります。これまでの取組を顕彰するとともに、将来の後輩たちへ高高スピリットをしっかり伝えていくことが出来ればと考え、このたび本館一階の会議室前に大形の顕彰棚を設置し、その廊下を挟んだ西側の壁面に全国レベルの活躍を辿る「栄光の記録」板を掲げております。顕彰棚の中身を充実することは、いつにかかって生徒諸君の取組如何ということになりますが、この「文武両道」の試練を通じて自己を磨き、高めていって欲しいと心底願っております。

東京玉翠会の皆様方には、今後とも、高松高校の教育活動に対し格別の御指導と御支援を賜りますよう、お願い申し上げます。また、東京玉翠会が第18回総会の御盛會を機に益々発展し、皆様方が御健勝・御多幸でありますことを心からお祈り申し上げます。



東京玉翠会 会長  
辻 義文

## ご挨拶

本年も51年卒の大喜多俊彦君をはじめとする幹事団のお骨折りで、着々と総会の準備が進められている。7月には元気な皆さんにお会い出来る事を期待しています。

卒業からの年数が長くなると時々教育の問題が気になることがあるが、それは多くの場合システムとか運用の問題で、施設とか設備といったハードの問題に触れる機会は少なかった。先日偶然教育のハードの基本である建物について考える機会を持った。挨拶とはかけ離れた話になって恐縮だが、今大学（特に自然科学系）の校舎がどのような状況になっているか？について、日本学術会議が昨年秋に出した報告をもとにご紹介をします。その現状は次の文章に要約されている様に思われます。

“大学の人員拡張は、戦後長年にわたって行われてきたが、大学関係の建物、施設の新設、更新は人員の拡充に追いつかず、多くの大学で不足状態が解消されないまま極端な過密状態が続いている。特に自然科学系の実験室においては過密状態が著しく、研究者の安全、健康への影響が憂慮される状況にある。多くの大学では、スペース不足のため、新鋭の機器の導入もままならず、スペース問題は研究活動を発展させる上で最大の阻害要因になっている。”そして欧米の基準面積からすると、日本のそれは極めて不十分であるが、その基準に照らしても、H.10年度で国立のみで500万m<sup>2</sup>が不足していると訴えている。この不足面積は東大の全建物面積が100万m<sup>2</sup>なのでこの5校分にあたるとしている。教育改革だ、人材育成だと言っている一方でこんな重大なインフラの欠陥があるのは何とも情けない国である。東京都をはじめ地方自治体の建物はイベント・ホール、庁舎、市役所、区役所等、立派過ぎる物が目に付くのに国の基幹と言え施設に目が届かないのだろうか。H.8-H.12の5ヵ年計画である第一次科学技術基本法では1200万m<sup>2</sup>の大学の施設整備がうたわれていたが、100万m<sup>2</sup>すなわち10%以下の達成率で終わりそうであるとしている。公共投資の予算が何故ここに投入出来ないのか、疑問がひろがる。来年度からの第二次計画には確実に実施される計画にしてもらいたい。

以上の報告は主に国立大学に関する物であるが私立大学にも同様な問題があるのではなからうか。当会のメンバーには現役の大学生もいるが、大学生の子供さんを持つ人も居るだろう。一度何かの機会に見学してもらいたい。

## 在学時代の 思い出で綴る20世紀

## 在学時代の思い出 —20世紀をふりかえる—

### 高高と世の中の20世紀年表

- (1) 香川県立高松中学校（高中） & 香川県立高松高等女学校（県女）
- 明治24. 10. 25 県女；讃岐婦人進徳会により天神前大護寺内に私立進徳女学校として設立。
25. 5 高中；高松市に中学校を設立する議、県会を通過し、高松市五番丁に工を起す。
26. 3 高中；文部大臣より開校認可、香川県尋常中学校と称する。定員350名、10学級。
- . 4 県女；香川県高等女学校と改称し、本科、予科、別科を置く。
- . 5. 8 高中；香川県尋常中学校設立、同年6月4日開校式を行う。
27. 5. 5 高中；創立記念式挙行、以後これを恒例とする。
30. 5. 30 県女；五番丁に校舎新築落成する。
31. 4. 1 高中；県立に移管し、香川県立高松尋常中学校と改称する。定員600名、15学級
32. 4 高中；香川県立高松中学校と改称する。
34. 4 県女；生徒の徽章を雪持ち笹に制定。
35. 4. 1 県女；県立に移管し、香川県立高松高等女学校と改称する。
36. 10. 11 高中；東宮殿下（後の大正天皇）御台臨。
40. 1 県女；袴に白色の直線（テープ1本）を付ける。
42. 3 高中；寄宿舎落成。（生徒51名収容）
- 大正3. 9. 14 県女；校歌制定。  
〈第一次世界大戦に参戦〉
4. 3 高中；記念図書館落成。
- . 9 高中；校歌制定。
7. 3 高中；武道場竣工。  
〈シベリア出兵、高松でも米騒動発生〉

## 在学時代の 思い出で綴る20世紀

8. 2. 25 共に生徒定員700名に増加。
9. 5 <メーデーがはじめて行われる>
11. 11. 21 県女；東宮殿下（後の昭和天皇）御台臨。
13. 7 高中；プール竣工。
14. 5 <普通選挙法公布>
- 昭和2. 4 <琴電が瓦町ー琴平間全線開通>
3. 11 高中；御大典奉祝全国中等学校選抜野球大会で全国優勝
4. 4. 29 県女；行啓記念図書館竣工。
- 5 <普通選挙法による市会議員選挙実施、高松一字野間に自動車・貨車航送船が連航開始>
- 6 <三越高松店開店、満州事変勃発>
7. 11 県女；窪川幸、日本卓球選手権大会優勝。<5. 15事件>
9. 8 高中；柔道部全国優勝。<室戸台風来襲>
- 11 <2. 26事件>
- 12 <日中戦争勃発>
13. 9. 1 県女；校舎改築、鉄筋コンクリート3階建落成。<国家総動員法>
17. 4 共に生徒定員1250名、25学級とする。
20. 7 高中；戦災のため校舎焼失。
21. 4 高中；分教場を香西、弦打、川岡、平井、屋島に置く。
- . 12 高中；旧敷地に6教室落成する。
22. 3 高中；分教場を廃止。
- . 5 高中；旧敷地に更に25教室落成する。
23. 4 新学制実施により、高中は香川県立高松高等学校と改称し、県女は香川県立高松女子高等学校と改称した。

### (2) 香川県立高松高等学校

- 昭和24. 4 旧香川県立高松高等学校、旧香川県立高松女子高等学校を統合し、香川県立高松高等学校設置され、赤羽広志、校長に任ぜられる。本部を旧女子高校に置き、旧高松高校を西館と称

- . 9 香川県立高松高等学校生徒自治会発足する。
24. 10 第4回国民体育大会で、女子体操個人総合1位 佐藤島代
25. 1 高松中同窓会玉藻会と高松高女同窓会晩翠会合同し、玉翠会として発足する。
26. 10 校舎増築、鉄筋3階建9教室270.5坪（本館中棟）落成し、西館を廃止する。
28. 4 文部省「剣道禁止令」解除。<テレビ放送開始>
- . 10 第8回国民体育大会で女子体操団体・個人優勝（曾我部和子）
28. 全国高校体操競技選手権大会で女子体操団体・個人優勝（曾我部和子）
- 男子特殊種目クライミングロープ優勝（広瀬利夫）
29. 10 第9回国民体育大会高校男子柔道香川県チーム優勝（三宅倫三）
30. 9 旧高松中学校跡の西運動場整地完了。
30. 10. 29 新講堂兼体育館、鉄筋3階建387坪新築落成する。
31. 4. 1 家庭科の生徒募集を停止する。
32. <なべ底不況、石原裕次郎人気>
33. 11. 2 特別教室、鉄筋3階建206坪新築落成する。（音楽、作法室、食堂）
- . 12. 15 西運動場に旧高松中学校発祥の地を記念する石碑を建立する。
34. 4 カウンセラー新設する。
- . 11 本館増改築209坪完成する。（本館西棟3階3教室、準備室）
35. 10 プール新設工事落成する。ローマオリンピックに曾我部さんら出場。
37. 9 全国高校ヨット競技選手権大会、女子A級優勝（ヨット部 湯浅純子、山本保子）
38. 3 校舎鉄筋4階建971坪落成する。（新館7教室他）

- . 9 全国高校ヨット競技選手権大会、男子S級優勝  
(ヨット部 木下政広、多田幸男、豊島重暉)
- . 12 創立70周年記念式典を行う。新校旗を作成。  
(同窓会より授受)
- 39. 3 校舎鉄筋増築工事264坪落成する。  
(本館北棟4階7教室)
- . 4 大学合格率79.5%〈東海道新幹線開通、東京オリンピック〉
- 40. 3 校舎鉄筋増築工事160坪落成(本館西棟4階9教室)
- 4 生徒数全日制2805名(他は定時制・通信)〈大学学生数100万人突破〉
- 43. 4 全日制課程に理数科を新設する。定員46名〈国民総生産世界2位〉
- 46. 8 全国高校定通制体育大会陸上競技男子5000m優勝  
(陸上部 川中正昭)
- 47. 4 就職希望者激減(女子9名のみ)  
〈海外旅行者100万人突破、脱サラ、シラケ〉
- 48. 11 全日本ジュニア陸上競技大会男子B110JH優勝〈オイルショック〉  
(陸上部 井上 康)
- . 11 創立80周年記念式典を行う。
- 52. 4 全日制課程理数科の募集を停止する。〈平均寿命が男女とも世界一に〉
- 53. 8 全国高校定通制体育大会軟式野球優勝  
(野球部 田村 晃、藤堂昌寿、鈴木 貴、永田 浩、吉内  
巖、高橋幸夫、秋山享史、岡野 徹、岡本文男、監督一越智  
功)
- 54. 昼食時の無断外出禁止(外食禁止令)〈共通一次実施〉
- . 11 創立90周年記念式典を行う。
- 59. 11 全国高校定通制体育大会男子軟式庭球競技団体優勝  
(軟式庭球部 村上昭彦、長田和久、幸内孝志、林 賢二、  
渡辺正弘、間崎好幸、瀧谷 真、渡辺 剛、監督一渡辺裕文)

- 60. 8 全国高校定通制体育大会剣道競技男子香川県チーム団体優勝  
(剣道部 林 洋行、池田良史、松原有宏、片岡秀樹、監督  
一沖田 正)
- 60. 8 全国高校定通制体育大会男子軟式庭球競技個人優勝  
(軟式庭球部 幸内孝志、河野博之)
- 62. 12 体育館鉄筋3階建2898.70㎡竣工。
- 63. 10 第43回国民体育大会少年女子Bやり投げ優勝  
(陸上部 藤井千晶)
- 平成1. 8 新校舎起工式
- 3. 1 校舎並びに玉翠館、鉄筋5階建11.928㎡竣工。
- 3. 6 同上落成記念式典を行う。
- 4. 10 第47回国民体育大会フェンシング競技少年女子フルーレ香川  
県女子チーム優勝(フェンシング部 廣津扶充子)
- 5. 1 自転車置場並びにテニスコート、鉄筋平屋建屋上人工芝貼  
1.024㎡竣工。
- 8 創立100周年記念「第九響け歓喜の歌」音楽会を開催する。
- 9 全天候型第一運動場、多目的コート、および部室441㎡竣工。
- 10 第48回国民体育大会ヨット競技少年男子スナイプ級優勝
- 11 創立100周年記念式典を行う。100周年記念モニュメントを建  
立する。
- 7. 10 第50回国民体育大会フェンシング競技少年女子フルーレ香川  
県女子チーム優勝  
(フェンシング部 大西由子、三谷直子、川西真紀)
- 10 漕艇競技少年男子シングルスカル優勝(漕艇部 久保武大)
- 8. 3 第7回全国高校選抜競漕大会競漕競技男子シングルスカル  
優勝(漕艇部 久保武大)
- . 10 第51回国民体育大会漕艇競技少年男子シングルスカル優勝  
(漕艇部 久保武大)



卒業生数

(平成11年3月)

|                    |         |
|--------------------|---------|
| 1. 県立高松中学校         | 6,643名  |
| 2. 県立高松女学校         | 6,836名  |
| 3. 県立高松高等学校全日制     | 28,376名 |
| 4. 県立高松高等学校併設中学校   | 1,316名  |
| 5. 県立高松高等学校定時制(本校) | 1,340名  |
| 6. " (直島分校)        | 297名    |
| 7. 県立高松高等学校通信制     | 1,869名  |
| 合計                 | 46,676名 |

大正デモクラシーの中で

昭和4年卒

松浦 三知子

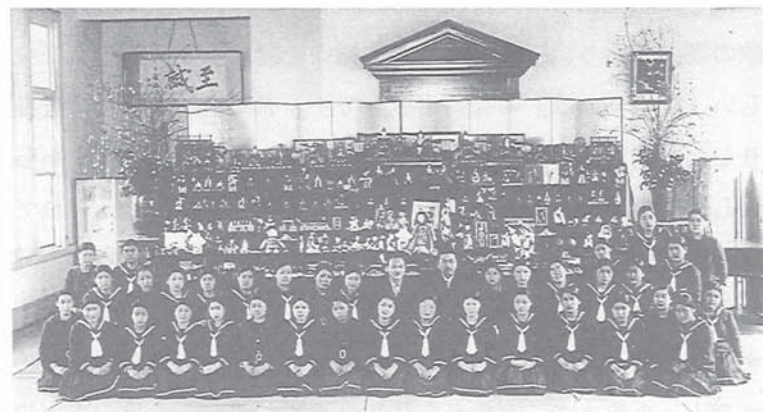
「丘の桜も来ん春は、紅きつぼみを結ぶべし、されど我等はこの庭に、また見んことはよもあらじ…、我等はここに争いぬ、また泪しぬ、ほほ笑みぬ、咲けよ、咲けよ、丘のさくら…」、原稿のお話が出た数日後、ふとこんな歌が、おぼつかないメロディーと共に浮かんできました。私の幻の歌かも知れません。

その頃の行事で私たちの目に浮かぶのは3月6日、地久節の日に行った雛祭りでしょう。国語の細川先生が選者になられ、募集された短歌の発表がありました。「それとなく昔の雛の話出て今宵美し、お母の眉」、漢学者の家に生まれ、厳しく育てられ、17才で結婚、7男、3女を育てた母の横顔を想いながら詠んだものと思います。阿讃国境に近い生家は夏休みともなれば遊学の兄達も帰郷、月の光のさしこむ縁側で、松井須磨子たちの演じた「カチューシャ」の唄を兄たちと唄ったものです。私は長兄の次に生まれた姉が女学校を卒業する年、男の子ばかり生まれた後の女の子でした。目玉のキョロキョロしたところから「フルック(フクロウ)」というニックネームをつけられました。1970年西独政府の招待で、彼の地を訪れた際、工手学校を見学、その校章が「ふくろう」であったことから「ふくろう」をコレクションに決めました。各国の「アウル」のコレクションが賑々しく本棚の上から私を見えています。

10人の兄弟は皆同窓生になりましたが、今は妹と2人になりました。3年生の頃、新任の太田黒先生が赴任され、絵を描くことに夢中になり、画家を夢見たこともあります。熊本へ帰られた先生も亡くなりました。私は飛行機、ロケットのエンジニアと結婚、その夫も5年前に他界しました。今は生家の廻りの風景、幼い頃の友ともう一度会ってみたい、こんな願いを持ちながら在京の晩翠の方が足が不自由で外出が出来なくなったと云われると胸が痛む今日です。

毎年の総会では夫が丸中、旧制高校で御世話になった方々とお話し出来るのも楽しみです。

そして、こんな機会を与えて下さる高校の方々に感謝し、この会が今後も続けられるよう、そして新しい世紀が平和であることを祈っています。



雛祭り

## 高松女学校の思い出

昭和五年卒業

南保 とみ子 (旧姓 北原)

創立間もない高松高等商業へ初の配属将校として父が着任することになり、私は三年生から高女に編入し卒業まで三年間在学しました。その前に北九州小倉、東京、丸亀と転校し、高女は四校目でした。校庭も広々としていて、新旧の校舎を太鼓櫓でつないであり、寄宿舍もあって風格のある学校でした。雨の日以外は、朝礼が校庭でおこなわれ校長先生の訓辞がありました。今までの三校は校庭が狭くてそうした集まりは出来なかったもので、さすが松平十二万石の城下町、県庁所在地の学校は格が違うと思いました。藤吉校長は「わが校には天皇の行啓があって、皆さんの歩く廊下を陛下も歩かれたのだからプライドを持つように」と何度も話されました。行啓記念図書館、御真影奉安殿が建ったのも私の在学中でした。又、ドイツのツェッペリン飛行船に、海軍航空隊将校だった校長先生の弟さんが日本人として初めて搭乗者に選ばれました。乗船の前と後に図面を持って来校され講堂で話されたのに、内容よりも校長先生にそっくりだったことの方を覚えています。三月六日の地久節（皇后誕生日）に合わせて講堂の壁一面に大きな雛壇が作られお内裏様がいくつも飾られ、そのあでやかさに生徒たちは大喜びでした。その日は、先生から宿題に出されていた和歌の講評があり、その後は各学年趣向を凝らした演劇や音楽会などをして、楽しい『雛祭りの歌』の合唱で散会です。お雛様は晩翠会の皆様のお宅からお借りしたと聞いております。昭和三年頃でしたか、アメリカから友好親善の使節として「青い眼をした」人形が送られてきました。添えられていたメッセージは、雨天体操場の掲示板に貼られ、英文の美しい書体を珍しく眺めたものです。日本から贈る人形も県庁に展示されましたが、振袖の立派な人形に、漆のたんすや長持ちが添えられた豪華なものでした。春の長距離遠足のことも忘れられません。丸亀まで、高松から往復歩くのです。十五里十三町歩き通したと賞状

を戴いて、七十年経った今も大切にしている友達もいます。帰途落伍した私は、賞状は戴けませんでした。白峰御陵参拝も毎年の行事となっていました。新しく明治節が制定されたのも在学中のことで、その時、明治節の歌を全国から募集、善通寺の学校の先生が当選され、高女の講堂で扇子にその歌詞を書いて大変うれしそうに披露されました。敗戦後「文化の日」と名も替わり、折角の歌詞も短い命でした。

他にも沢山のことが思い浮かびますが、字数に制限があるのでこの辺で筆をおきます。



行啓記念

## 在学時代の思い出

S14高中卒

### 宮井 仁之助

昭和9年入学の私たちの高中時代は、日本が対戦への傾斜を深めていった時代でもあった。制服の色が黒からカーキ色になったのは一年下の入学生からであったが、登・下校時にゲートル着用が義務づけられ、軍事教練が重視されるようになった。出征兵士の見送りや、八幡神社への戦勝祈願参拝が学校行事として繰り返されるようになった。

二年生の三学期のある寒い朝、私のクラスは植物の福田先生の指導のもと、教練の花壇でその秋にさかせる菊の苗作りをしていた。そのとき、東京で大事変が起こったというニュースが伝えられた。首相や蔵相が軍人に襲われたという。事情はよく判らないまま、「えらいことになったな。」と互いに声をひそめて話し合った。後に二・二六事件と言われた出来事であった日である。

3年になると日独防共協定の調印、4年になりそろそろ上級学校の受験勉強をというときに日中戦争が勃発。その頃になると中学生ながらもただならぬ時代の雲行きを身辺に感じざるをえなかった。4年終了で成績の優秀な友人が何名も陸軍士官学校や海軍兵学校へ進んでいった。

しかし、学校生活は一般的にまだ余裕もあり、息づまるようなものではなかった。教練が厳しくなったといっても、配属将校の多田中佐や永峯教官は友人のお父さんで、「コワイ」存在ではなかったし、教護連盟が目や目を光らせている（と言われた）ライオン館などの映画館にコソコソ出かけた友人も少なくなかった。当時はやった歌では、「椰子の実」などの国民歌謡、「露営の歌」「麦と兵隊」などの軍歌的なものと並んで、「二人は若い」「忘れちゃいやよ」「あゝそれなのに」「青い背広で」など結構軟弱な流行歌が中学生仲間でも巾をきかせていた。

運動部も盛んで、強かった。三好選手を中心に野球部が夏の甲子園に進んだのは私が一年のとき。小柄でキビキビしたプレーが好評で、当時有名だったドイツの軍艦にちなんで「豆戦艦」と愛称されたが、後年に巨人軍に入った川上・吉原のバッテリーを擁する熊本工業に敗れ涙を呑んだ。他の運動部も盛んであった。遠距離通学者以外は何かの運動部に入るのが当たり前と考えられており、進学と矛盾するものではなかった。私の在籍した剣道部では、天覧試合の優勝戦で日本中の注目を集めた二刀流の藤本錬士、昭和8年東京帝大在学中全国学生剣道大会で優勝した大島功氏（後に日本剣道連盟会長）らが身近に仰ぐ先輩であった。

優れた先生方の思い出も忘れられない。クラス担任の人見、坂田、大田和夫先生の他、小西、矢野、前川、岩佐、赤井の諸先生は夫々個性的で内容豊かな授業をして下さった。校外に吹き始めた厳しい時代の嵐にもかかわらず、運動部の練習と教室の授業の両方で鍛えられ、休み時間には気の合った仲間とワイワイ、ガヤガヤ騒いでいたのが私の中学時代であったように思う。

## 「永遠を掴んだ “学校との出会い”」

S15年卒

### 堤 久子

〈歴史は人と時空との出会い〉わたしはそう思う。

「当ても難関」と杉原幸子が「六千人の命のビザ」に記すわたしたちの通称は「ワン」スカートの裾に走る一本の白線がその所以。

1936年皇道派青年将校らによるクーデター、所謂2・26事件発生の前年入学を果たしたクラスの絆は今も健在である。

物心ついた1931年9月勃発の満州事変以来「戦争」の規程に入らぬ争乱の続出、内憂外患の時流に慣れ育った世代にも、独裁者ヒトラーの脅威に翻弄される、大英帝国外相イーデンの苦悩を具さに描いたニュース映画「苦悶するヨーロッパ」は唯ならぬ時代の到来を告げていた。

ドイツ内各都市でのユダヤ教シナゴグ破壊に始まるユダヤ人迫害「クリスタル・ナハト事件」リトアニアの在カウナス領事代理杉原千畝のユダヤ難民への日本通過ヴィザ発給の真相が届くのに、全世界は戦後を待たなければならなかった。

教科書、学芸会に見る、シェークスピア「ヴェニス商人」の有名な法廷の場面、強欲なユダヤ人金貸しシャイロックを痛快にやっつける、男装の裁判官ポーシャに喝采した自らの無知、不明を恥ずかしく思う。

1938年1月9日中国奉天（現・瀋陽）において一人の牧師が神と出会い「選民イスラエルの国家的・霊的回復こそが真の世界平和の前提条件」との重大啓示を受けた。世界の東と西で神とサタンの業が、同時進行していたのである。

1948年5月14日イスラエル国家独立。

イスラエルの「最終解決」、すなわち、ホロコーストからの開放・霊的救出に力を貸した二人の先輩“もう一人は教会の伝道師”に期せずして出合った愛の奇跡を喜ばずにはいられない。

杉原夫人とは1992年、教会と東京晩翠会でと、二度お会いした。ヴィザで九死に一生を得たイスラエルの元宗教大臣とも・・・。

〈神のなさることはみな、時に適って美しい〉

## 2000年の 古希記念同窓会に思う

東京丙丁会 (21・22年卒)

幹事 (当番) 三好 健夫

幸運なことに、我々の古希記念同窓会は、2000年という千載一遇の年の早春3月11日、文京区にある郷里ゆかりの金刀比羅宮東京分社に集合して、今後の健康と長寿を祈願し、引続き小石川後楽園涵徳亭で、旧交を温めながら、お互い70年精一杯生き抜いてきたことを慶祝し、更に、お互いが夫々持っている貴重な思い出の一つを語り合い、皆で共有できるよう「キラリ輝く思い出集」を、記念誌にまとめ会員に配ることができました。中には、「歴史の風紋」ともいえる貴重な思い出もあり、後輩に是非読んでもらいたいものもありました。記念誌にのせたこれらの思い出を一読して、はじめて判ったことですが、戦中・戦後と波乱万丈の時代の流れを、一緒に経験したこと、特に、高中時代勤労動員で共に汗を流して、林飛行場づくりをしたこと、高松空襲で級友をなくす等、殆どの友人が必死の思いを経験したこと等々が、今でも皆の胸中に脈々として流れていて、それが人生の心の支えになっていることが、強烈に文脈の底流となり、深淵のごとく深く、暖かい同窓愛となり、ほのかな香りを出していることに、驚きと感動をおぼえました。金銭で換えられない素晴らしい「宝」を、我が丙丁会の皆さんが持っている。そして、私もその宝を共有していると思うとうれしく感じました。記念誌をつくらなければ、この「宝」は、十二分に自分のものとならなかったと思います。投稿された皆さん、心を磨いてくれて有難う。私は、これから歩む人生のエネルギーを皆さんから戴いたようです。

さて、最近、石原慎太郎氏が、正論大賞記念講演をされ、現在おかれている日本の客観的状況について、適確に述べておられる。共感された方も多いことゝ思います。今の子供達は、「自由と責任」のバランスがとれず、時の流れに溺れている。肉体的持久力と精神的忍耐力を持つことが如何に大事かを、大人が教え育てなかったからだと思う。明らかに大人の責任であろう。多分、大人の心の中に、敗戦ショックのエアポケットが、今なお続いているからではなから

うか。幸い我々は高中時代「文武両道」の精神を教わった。今、考えれば、これは人間教育の一番大事な基本でした。いつの時代でもその価値は変わらない。今後世の中が急速に進んでいく時代を考えますと、現在の我々大人は、立派な日本をつくる「新しい理念の橋」を、汗を流して早く作り上げないといけない時機にきています。この時代、悠々自適の生活態度は逃避だと思えます。身近な一隅での地道な努力が求められています。皆が努力すれば、きっと新しい橋ができ、素晴らしい日本が新生すると思えます。「かけがえのない日本」ですから、皆で努力しましょう。皆様の今後のご健康とご活躍を祈念いたします。



全紙面67ページに及ぶ自費出版記念誌です。高高、東京玉翠会には寄贈誌が備えてあります。個人的に本誌をお望みの方には実費1,500円にてお分けすることは可能です。下記連絡先までお申し出下さい。

連絡先；細溪美古 (S22年卒)  
東京丙丁会 幹サイビ

## 戦災・敗戦そして 学制改革の渦中で

昭和25年卒

川添 和夫

### ○中学への入学から敗戦

もう半世紀を経た、少し堅い話で恐縮であるが、今なお鮮烈な思いを残している当時の特異な体験を振り返ってみたい。

我々の年代は14年に亘る長い戦争の発端となった満州事変の勃発した昭和6年の生まれであって、文字通り戦争と共に成長した。

戦争は拡大の一端で支那事変、そして昭和16年には遂に太平洋戦争に突入した。緒戦は疾風迅雷の勢いで南方を席卷したが、米軍も反攻で戦局が非勢に傾きつつあった昭和19年4月に、男子は高松中学に女子は高松高等女学校（以下通称県女と記す）に入学した。

この頃は戦時下学徒動員令で、高中も県女も高学年は飛行機工場など軍需工場や飛行場建設など、低学年は農家へ勤労奉仕や防空壕造りに従事した。

昭和20年に入るとマリアナ基地からの各地への空襲が激しくなり、本土決戦が叫ばれるようになった。そして4月からは低学年も動員され、我々2年生は、屋島、坂本、国分と道路を拡幅して滑走路とする工事に狩り出された、中でも6月の坂本は飯野山の小学校の講堂に1ヶ月間泊り込んでの工事であった。

この間に岡山空襲があり、酸鼻な激戦の末沖縄が占領された。月が変わった7月4日未明に高松空襲で市街地は焼け野原になった。木造の高中の校舎は灰燼に帰し、一方県女の鉄筋コンクリートの校舎は焼失を免れた。8月に入って広島、長崎と続いて原爆が投下された、熱線爆弾と報道され真相は発表されなかった。15日正午に玉音放送があった、雑音多く良く聞き取れなかったが、夕刻には終戦を知った。

### ○授業再開と学制改革

虚脱感と荒廃の漂う中で10月から授業が再開された、勿論高中の校舎は焼失しているので仮の分教場生活で、2年生は鶴尾小学校に間借りした、板の間で机もなく、床に座り画板を抱えてノートを取った。明けて21年4月からは地域

別となり屋島、平井、弦打、香西、川岡と各地に離れ離れになった。

県女の方はというと、焼け残った校舎は焼失した県庁に接収され、体育館と木太、平井、古高松等いくつかの分校での授業を余儀なくされ、本校舎に戻ったのは翌21年8月であった。

22年にはアメリカの教育使節団の勧告に基づき、学制改革が4月から実施されることになった、所謂6、3、3、4制である。この年にはまず中学3年の義務教育制が発足した。

この頃には高中本校に一部応急の仮校舎が建ち、四部授業、二部授業などを経て木造ながら本校舎が完成し、22年半ばに漸く全校一斉授業が可能になった。23年3月には旧制高校最後の入試が行われ、5年卒業生に伍して4修で13名が合格したのはまさに快挙であった。

### ○新制高校の発足

この23年4月からは3年制の新制高校が発足し、それに伴い新制の高松高校と高松女子高校の2年に編入された。ただ我々の学年は旧制のままで卒業するか、新制高校へ進むか選択を認められていたので、24年の4月には5年制の旧制最後の卒業生が一足早く社会へ巣立っていった。

一息入れてクラブ活動にも少し触れておきたい。話は相前後するが、市街も徐々に復興が進み、本校舎に戻ってきて、着古した軍服まがいの服やもんぺ姿から、詰襟やスカートに服装も整って来、高校になったからと帽章も変え白線を巻いて粋がったり、抑圧されていた若いエネルギーは明るく、クラブ活動も盛んになった。

野球部は甲子園出場こそ果たせなかったが県大会で優勝し、北四国戦に松山に遠征した。バレー部は県下の大会はいつも優勝戦にのぞみ、男女の体育館を沸かせた。県女のバレー部もよく活躍し、友好試合も行われた。花形は県女のソフトボールチームだったろうか、黄色い声をあげながらグラウンドに熱戦を繰り広げ、国体の県予選では決勝まで進出したが惜敗し無念の涙を飲んだとか。

コーラス部は2年に亘って関西コンクールに出場し、1位、2位と好成績を収めている。戦後の歌謡曲の氾濫する中で、可憐ともいえる乙女の歌う民謡や歌曲のどこか哀愁を帯びた歌声は、一入情感をそそる物があった。

### ○高松高校への統合

昭和24年4月からは、高校再編で高松高校と女子高は統合され香川県立高松

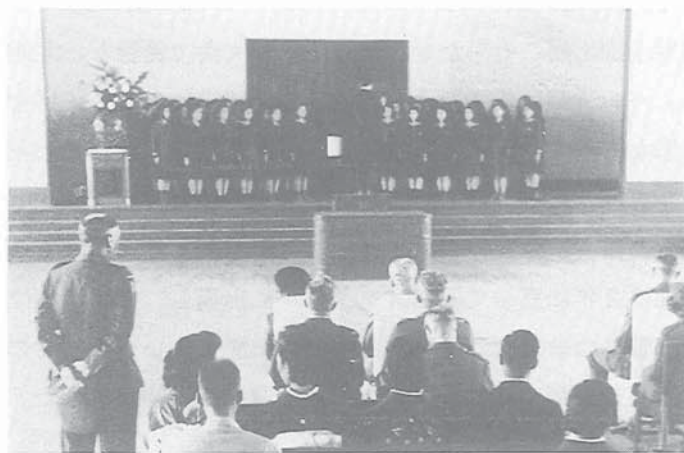
高等学校となった。昔の人が聞いたら卒倒しかねない男女共学、単位制の学年をまたがっての講座、戸惑いながらも自然に溶け込んでいった。文芸・科学関係のクラブ活動も、学年と男女を超えて交流も広がり、一層華やかに盛んになった。校舎は道を挟んで二つになった、休憩時間ごとに東西に向かう生徒の流れをゲルマンの大移動と称したものである。この時期僅かな期間ではあったが我々にとって得難い経験をしたといえよう。

こうして我々は昭和25年3月に新制高松高校の一期生として卒業した、同期に中学また女学校に入学したものが3年に亘って卒業するという結果になった。  
○結びに替えて

忘れてはならないのは、戦災、敗戦の荒涼とした世相、そして学制改革と混沌とした中で、授業の再開、復興、正常化に奔走された先生方、次々と復員され教材も仮ならぬ中で熱心に指導された先生方の並々ならぬ努力の賜物であるという事である。

舌足らずに書いてきた一行一行から想起されることは、例え千言を費やしても語り切れない筈である。今年が卒業50周年にあたる、校舎も旧日に姿はなく、新校舎に面目を一新している、一期生の一人として、新制高松高校は益々発展を遂げ、また、あの悪夢のような時代が再び巡ることのないよう念ずる次第である。

最後に18回の総会にあたり、貴重なプログラムの紙面に過大なスペースを提供して頂いた51年卒の幹事の諸公に感謝の意を表したい。



高松高女 コーラス部 ロバートソン中将視察  
昭和23年秋頃 “からたちの花” 演奏

35年卒

## 大西 恭子 (旧姓 宮武)

高二になって何月だったか覚えてないけれど、校門を入ると号外が配られていました。受け取って『生徒会長決まったのか…関さんだ』と思い副の方を見るとなんと宮武恭子と私の名前が出ているではないか——これには本当にエエ——と声も出なかった。

生徒会の最大イベントは文化祭です。クラス演劇、スケアダンス、バザー(食べ物)そしてプログラムの入った「しおり」作成。「しおり」に出してもらって広告集めに2・3人ずつ手分けして学校の周りを歩いたものです。いくらくらい集まったのか、文化祭の予算はいくらぐらいだったのかぜんぜん覚えていませんが、高高の食堂はうどんしかなくてネギと花かつおのうどんが10円、豆とかえびの入ったテンプラをのせると15円の時代です。バザーは試食会がありサンドイッチを数種類食べたらお腹いっぱいになり、あとは試食できませんでした、でもおいしかったナ——。

演劇も参加クラスが多くて体育館は二日間、空く間なしでした。「裕次郎」がスターになる頃です。生徒会が忙しいのにクラス演劇にも首をつっこみ家に帰ると11時頃、皆勉強しているのに…明日の英語どうしよう、数学は…と心配でしょうがないのいつの間にか夢の中。演劇は役者は7人ですが、クラス全員がスタッフで盛り上がり、衣装を神社で借りたり、兄嫁さんの上等の着物を持って来てくれたり、その上「かつら」までそろったのです。今ごろになって、あの時ただで借りて汚して返したよ、お礼とおわびに行こうかと話しています。

とにかく、忙しく楽しい文化祭もあつという間に終わり反省会。誰かが赤玉ポートワインの一升ビンを持ってきたのです。アルコールは悪いと全員分かってはいたけれど断れないなにかがあるんです。数日後、校長室に呼ばれました。格好悪いナーだけど全員なので悪いことをしたという反省も薄く、十数分のお説教で無罪放免。高高の校長室に入ったのはこの時が最初で最後。今となつてはなつかしい久保校長、徳田先生(生徒会)、島山先生(生徒指導)です。

勉強に劣等感を強く持ちながら、それでも発散できた17才の頃、あれからもう40年以上たちました。



S34. 1. 11 19代自治会員

## 高高の思い出

昭和45年卒

池上 晴英

私の学生時代は、昭和42年～45年です。社会状況といえば、かたやビートルズから始まったGS全盛時代、方や60年安保から始まった学生運動(全学連)から新たに全共闘と呼ばれる一般学生集団が生まれ、全国的に学生運動の全盛期だった時代です。私が2年の時の東大安田講堂紛争は、全国民がテレビに釘付けになり、東大安田講堂での籠城した学生と機動隊の攻防を一喜一憂しながら見ておりました。しかし、その年東大を目指していた受験生はそれどころでなく、東大の入試がなくなり志望校を京大にするか、1浪して受けなおすか悩んで大変でした。

高高でも私が2年のとき、学生運動らしきものがありました。2年の体育祭の折、当時の生徒会長(私と小・中学校が同じです)が、運動会開催の挨拶の中で突如演壇を駆け下り、屋島陸上競技場のメインポールの方向に走りより、日章旗を引き降ろそうとした事件がありました。当時の大学生を席卷した学生運動に比べれば可愛いものでしたが、この事件が高高の唯一の学生運動らしきものであったような気がします。

また、3億円事件や日本初のハイジャック「よど号乗っ取り事件」など、世相的にはかなり暗い事件が続きましたが、それとは対照的に私たちの高高における高校生活は明るいものでした。クラブ活動や、文化祭、クラスマッチなど楽しい思い出ばかり思い出されます。これは時効ですが、2年のクラブ活動・夏合宿のとき、大変酒好きの顧問の先生と3年の先輩と数人の同期が、教室で隠れての酒で盛り上がり、あげくの果てに東門を乗り越え築港までラーメンを食いにいったという有名な「伝説」があります。健全な高校の合宿で、深夜に担当教官引率の元、東門を乗り越え夜の巷に繰り出すとは、いやはや高生もやるものだね。担当教官も粋な計らいをするもんだね。いい時代だったね。

また、高高の大ベストセラー「足物語」を書かれた先生はスポーツ万能で、学生たちの兄貴のような存在でしたが、特に中庭のバドミントンコートでのゲームは有名でした。昼休み、放課後を問わず、自分の空き時間にだれかれ問わず「バドミントンしようぜ!」と呼び止めて(バドミントン部の部員をも相手に)、一生懸命、かつむきになって学生と真剣に遊んでいた先生。熱くなりすぎる先生に学生のほうが冷静でしたが、私は好きで先生を捕まえてはバドミントンをやっていました。この先生以外にも、学生と本音で付き合う先生方が多くいたように思います。また、当時の先生の中には個性の強い先生がかなりいて、自分の家に受験生がいるのでテレビを置かない程固い先生とか、歴史の裏話ばかりしていた先生とか、かわいい女生徒に目のない先生とか、思い出するのは楽しい先生の顔ばかりです。受験校でありながら勉強も遊びも本人任せ、かなり自由な校風は現在の私に、独立自治の精神を教えてくれた貴重な3年間でした。当時の先生と同年齢になった今、心から先生方に感謝申し上げます。「ありがとうございました。」

## 「第2グラウンドの青春」

S55年卒

池上 茂

高二の秋のことだ。野球部員の私は、修学旅行に行けなかった。というのは、「秋季大会が近い。秋の信州よりも春の甲子園だ!!」という理由で、チームとして不参加を決めたからだ。私個人としては旅行を楽しみにしていたので、その決定はかなりショックだった。試合と旅行の日程が完全にかち合っていたのなら、まだすんなり諦めもついたのである。

結局、甲子園の夢もあっけなく散った。気落ちしていた頃に、クラス文集を作るようになった。私は級友の同情を誘うべく、「第2グラウンドの青春」と題した「修学旅行残留記」を書いた。「出発の日に港まで見送りに行ったこと」や「居残り練習の始まる前に、赤灯台まで海を眺めに行ったこと」などを記し、最後に「将来は高校教師になって修学旅行に行く。」と書いて締めくくった。——冗談みたいだが、現在私は都立校の教員である。そしていまだに高校野球に関わっている。ちなみに、修学旅行にも既に数回同行したが、生徒が悪さをしないか神経をとがらせてばかりで、引率は楽しいものではない。

卒業して20年になる。元々が転勤族で、卒業と同時に一家で東京に転住してしまっただけで、高松の町ともずいぶん疎遠になってしまった。

今年の1月2日、学年一同の大々的な同窓会があり、高松を訪れる機会に恵まれた。懐かしい面々と再会を喜び合った。その翌日、第2グラウンドに顔を出した。その日が高々野球部の練習始めだった。現在チームの指揮を執るのは、私と同期生の秦敏博監督である。その関係もあって、気安く練習に参加させてもらった。

練習は岩清尾八幡へのランニングで始まった。お参りを済ませ、グラウンドに戻り、キャッチボール開始。その後の守備練習では、私は外野フライのノッカーを務めた。その最中に、通りすがりの年配の方に声をかけられた。大先輩のOBであった。「ノックご苦労さんやけど、もっとライナー性の当たりで左右に振らんといかん。」——鋭い指摘。ふだん都立校の縦長のグラウンドでノックしている癖を、即座に見抜かれてしまった。それにしても、相変わらず野球に厳しい土地柄だ。

この日の野球部は、早めに練習を切り上げ、ボランティア活動(学校から中央公園にかけての周辺のゴミ拾い)を実施。その後再びグラウンドに戻り、整列して校歌の斉唱。感心したり感激したりで半日が終わった。「今度ここに帰ってこれるのは一体いつの日だろうか。」と思いながら、第2グラウンドを後にした。

話がまとまらない上に、テーマからそれたまま、字数がきてしまった。最後にもう少し付け加えさせて戴きたい。周知のこととは思いますが、今年の高々野球部は、四国屈指の好投手の松家君を擁し、秋の四国大会ベスト4。率いる秦監督は、現役時代、当時の高商の監督に「高々の秦の闘志を見習え」と言わしめた闘将。春の甲子園はあと一步で逃したものの、この夏は乞うご期待。

## 『旧校舎の思い出と 新校舎への恨み言(?)』

平成3年卒

吉野ユリ子(旧姓表示、本名;大須賀ユリ子)

高校1年生の時、天皇陛下がなくなった。東京ではバブルなるあだ花が咲き乱れ、ワンレン・ボディコンのお姉ちゃん達が踊っていたらしい。島の高校生は、もちろんそんなものとは縁がない。「100円でお腹がおきます」のうどん屋は、消費税導入と同時に150円になり、私達のサイフを苦しめたのもたしかその頃だ。

レトロ感をちょっと誇りに思っていたあの校舎は、在学中「県危険建造物第1種」(そんなものがあるのか知らないけれど)に指定されると噂された。壁が剝離するため、校舎の回り1mはロープが張られて立ち入り禁止になった。そして3年の夏、本格的な工事に。建築現場の北側にあった教室は、風は通らないわ、うるさいわ、シンナー臭いわ…。窓を閉め、汗をボトボト落しながら課外授業を受けた。授業の空き時間には、ノートで席取りしてある図書室(=冷房あり)に戻り、汗を冷やす。冷たく濡れた制服でまた次の授業を受ける…。私達の学年で浪人した人は、多分みんなあの夏休みのせいだろう!

大学入試は、センター試験が導入されたばかりの頃だった。センターは香川大で行われ、「遠いところから来とる人もおるんやから、言葉がちやう言うて笑(わろ)たりすなよ。そんなんしょったら二次試験で都会行って仕返しされるけんの」と先生に諭された。湾岸戦争と共に入試を駆け抜け、卒業式だけが新校舎で行われた。ぴかぴかの新校舎に追い出されるような思いで、校舎の隅の古い正門で記念写真を撮った。父が東京で単身赴任していた私は卒業式の翌日に高松を離れ、その後はまともに訪れたことがなかった。

つい先週、友人の結婚式で4年ぶりに高松に帰った。夫に町を案内したかったのだが、高松駅は工事中、瓦町も駅ビルに変わり、高高は言わずもがなで、知らない町になっていた。けれど町は変わっても人は変わらない。結婚し、二児の父・母となった子もいて、知らず延長保育や夫の家事分担に話題が流れもしたけれど、10年ぶりに会っても何を話しても、懐かしさよりむしろ穏やかな親しさを感じた。小学校高学年で四国に移り住んだ私は、高高で「お前幼稚園一緒やったやろ?」と言っているのを羨ましく見ていたけれど、今では高松を故郷だと思っている。香川は方言も強く地域のつながりも深く、特に主婦である母にとって決して住みやすい町ではなかったけれど、その閉鎖性が私に「故郷」をくれた気がする。讃岐弁(のようなもの)が話せて瀬戸内海の美しさとうどんの旨さを知っていれば、讃岐はいつでも温かい。



第101代生徒会長

佐藤 周

自治会として発足した高高の生徒会も、私で第101代を数えます。高高に生徒による自治活動が誕生して約半世紀がたち、今その中で活動できることを本当に面白くもやり甲斐があるとも感じています。様々な個性と力に溢れる約1100人の高高生をまとめあげるのは至難の業ですが、文化祭などのみんなで協力して何かを作り上げたりしたときの感動はとても大きなもので、それは私にとって、そして、多くの高高の仲間にとって自治活動に参加できてよかったと心の底から感じる瞬間だと思っています。

現在、高高では、個性豊かで毎時間真剣勝負で授業をしてくださる数多くの先生方の高いレベルの授業を大切に、そして自ら積極的に学び、生徒の自主性によって毎日それぞれに目標を持って活動している校友会活動に全力を注ぎ、そして、文化祭、体育祭を始めとする生徒会行事といった、先輩方から脈々と受け継がれてきたものをそれぞれに解釈しながら、それぞれの夢に向かって自分流の努力を日々重ねています。

我らが高高の校歌に高らかに歌われているように、

向学の念揺るぎなく 潑刺挙る意気を見よ

真理の道を極めゆく 独立自主の熱意見よ

自由と愛の血に燃ゆる 我が高高の自治を見よ

これらの高高スピリッツを大切に、これからも努力を重ねていきたいと思えます。

この5月には第102代の生徒会が発足し、活動していくことになっています。これからも、先輩方からの御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

2000.5.3



平成10年度入学

野球部主将 3年6組 中井 宏

野球部主将として皆様方に現在の高高野球部の紹介をしたいと思います。昨年の夏に新チームを結成した時、第2グラウンドの野球部のホワイトボードに以下の目標を掲げ、練習に励みました。

- ①練習試合を大きく勝ち越して、シード校に選ばれる！
- ②県大会で決勝戦に進出し、四国大会に出場する！
- ③四国大会で最低1勝する！
- ④センバツ甲子園大会に出場する！

①の目標は練習試合の結果が今一つで、クリアできなかったものの、②の目標は最激戦ゾーンを粘って勝ち上がり、達成。③の目標も県大会決勝で敗れた悔しさをバネに必死で戦い、徳島の第1代表を破り達成しました。しかし、準決勝の明德戦に敗れ、そして運命の1月31日…。全国高校野球連盟からは四国の補欠校という知らせしか届きませんでした…。この日から我々は、他力本願ではなく、自分たちの力で夏の甲子園を掴みにいこうと決意し、次の言葉を新たにホワイトボードに書き込みました。

臥薪嘗胆 夏こそ甲子園!!

そして、冬の厳しい練習を一人の落伍者を出す事なく乗り切り、春の県大会では失点の少ない安定した戦い方で決勝戦進出。決勝で敗れはしましたが、二期連続準優勝、夏の選手権大会のシード権を獲得、チームは秋の大会での自信を確信に変えることができました。しかし、まだまだ我々のチーム力は甲子園レベルではありません。油断や慢心をする事なく、夏の大会に向かって無心で練習に取り組んでいきたいと思っています。

秋と春の大会において、物心両面にわたって我々を支えて下さった多くの友人、保護者、先生方、そして先輩方への感謝の気持ちを忘れず、夏こそ昭和9

年以来の甲子園の切符を手に入れたと思いますので、これからもご支援の程、よろしくお願いいたします。

《平成11年度秋季四国地区高校野球香川大会》

|          |     |   |   |   |   |   |   |   |   |     |
|----------|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|-----|
| = 2回戦 =  | 三木  | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0   |
|          | 高松  | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | × | 2   |
| = 3回戦 =  | 高松  | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 1 | 0 | 5   |
|          | 尽誠  | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 4   |
| = 準々決勝 = | 坂出商 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2   |
|          | 高松  | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1×3 |
| = 準決勝 =  | 高松  | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 3 | 0 | 9   |
|          | 高松一 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2   |
| = 決勝 =   | 丸亀  | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4   |
|          | 高松  | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3   |

《平成11年度秋季四国地区高校野球四国大会》

|         |     |   |   |   |   |   |   |   |   |     |
|---------|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|-----|
| = 1回戦 = | 鳴門工 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1   |
|         | 高松  | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1×2 |
| = 準決勝 = | 明德  | 0 | 5 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 8   |
|         | 高松  | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 | 4   |

《平成12年度春季四国地区高校野球香川大会》

|          |     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|----------|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| = 2回戦 =  | 多度津 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 3 |
|          | 高松  | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 3 | 0 | 0 | × |
| = 3回戦 =  | 坂出  | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 |
|          | 高松  | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | × |
| = 準々決勝 = | 高松東 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
|          | 高松  | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 1 | × |
| = 準決勝 =  | 三本松 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 |
|          | 高松  | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | × |
| = 決勝 =   | 高松  | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
|          | 尽誠  | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | × |

## 2年生某クラスの HR日誌に見る 2000年度4月の高高

- 4月6日：新クラスの初日、みんな緊張していたようだった。はやくクラスみんながなじんで楽しいクラスになればいいなあと思う。
- 4月11日：現代文の時間に観た「モダン・タイムズ」がおもしろかった。みんなだんだん新しいクラスに慣れてきた様子。
- 4月13日：今日は、とても楽な1日であった。それはなぜかという、話すと長くなるので言わない。あと、自己紹介で「世界史より日本史が好きだ」と言ったが、あれは半分くらいはウソである。早く先生の授業を受けてみたいものだ。
- 4月15日：今日は雨が降っていていやだった。雨はきらいだ。しかも、雨のせいで今日は寒い。桜もほとんど散ってしまった。お花見がしたかったのに…。明日は休みだからうれしい。でも、春休みの宿題が終わっていない。くそ。数乙の先生がおもしろかった。よかった。
- 4月17日：2限目が家庭科で調理実習だった。けっこうな量だったのでお昼ご飯はそれですました。最近お金がなくて困っていたのでとくした気分だ。だけどそのお金はバンド練習にとんでいく。ひえ～。タダでバンド練習できんかなあ。  
先生 校長を説得して学校でできるようにしてくださいよ。
- 4月19日：最近腰が痛い。だから腹筋・背筋を鍛えようと思い、きのうねる前、はりきって腹筋をした。腹筋が筋肉痛になった。あーあ。ねむいな。ねたいなあ。ねようかなあ。ねよう。いつ？今。部活で無理か。部活といえば剣もう1本つくらんと。高いのに…。うう…。
- 4月20日：体育の組み立ては腰にくる。古典の時は眠かった。気づいた時には、授業終了5分前だった。明日は遠足。天気はあまりよくないらしい。

遠足を楽しめればいいと思う。

- 4月21日：今日は2-☆初イベント、遠足だった。チボリ公園は前に家族と行ったことがあったので、だいたいわかっていたけど水の上から落ちるやつにはのってなくて、今回はのろうと決心していて、ついにのれました…けどあんまりおもしろくなかった。あと、クレープを食べました。これはおいしかった。“カスタードチョコバナナ”最高!!今度はちがうところへ行きたいかも。
- 4月25日：体育祭が近づいてきたカンジ。バレーとかドッジも燃えるっばい。男子はどーなんかな?女子は球技、優勝ねらいでいくらしい。あたしもガンバローっと。明日から、朝練もするらしいし。朝、起きれるか心配△△そして、起きたとしても、疲れて授業中さらに寝ないか心配△△先生、次の世界史がんばって起きとくから、席がえお願いします。一番前はキツすぎ。☆☆THE END☆☆
- 4月26日：雨が降った。部活できん。試合近いのにー。こまったなあ、やばいなあどーしょーかな…はあ、今日水曜日かあ、なんかあったかな、あ、マガジンでるわ、立ち読みせな。コンビニ寄ろうかな、腹へったなあ、でも金ないしなー、わーわーゆーとります、お時間です。さようなら。
- 4月28日：このごろ、朝練している。朝起きるのは苦手だけど、けっこう楽しい。みんな、上達の跡が見えます。(私以外△)このままいけばマジで優勝できるかも!!あ、明日はバレー部の試合がある。イヤー△こっちの方もがんばらないと…です。あーあ、このままだと私の人生、バレー一色で終わるかも、です。ま、それもいっか。とにかく眠い。

ジャズサクソフォン奏者 多田誠司氏(54年卒) プロフィール

1960年5月10日、香川県高松市生まれ。

付属中学、高松高校を通じて吹奏楽部でFluteおよび指揮者を担当する。岡山大学入学と同時にJAZZ研究会に入部。20才の時AltoSaxに転向する。大学卒業後、就職のため地元へ帰り、セミプロの立場で中四国・京阪神のライブハウスで活動するが、JAZZへの情熱を捨て切れず、1988年上京。都内ライブハウスで活動を開始する。

1990年に村田浩(Tp) & The BOP BANDに参加。1992年にCD『The Blues Walk』にて全面的にフィーチャーされ、一躍脚光を浴びる。1993年末には、キングレコード主催、日本の若手ミュージシャン達による『日本ジャズ維新ジャム』のレコーディングにも参加。その情熱あふれるプレイで多くのファンを獲得する。また、1995年7月には転職情報誌「Be-ing」にその脱サラ人生が大きく取り上げられる。

1996年3月には大西順子(P) QUINTETの一員としてBLUENOTE東京・福岡・大阪の3週間にわたるツアーに参加。1997年5月にもJAZZWORKSHOPの一員として二年連続でBLUENOTE公演に参加。さらに高い評価を得る。

1997年6月、待望の初リーダー作『THE GIG』を東芝EMIより発売。SWINGJOURNAL誌主催、97年度「日本ジャズ賞」部門で第三位に入るなど、各方面より絶賛される。98年4月には来日中のBranford Marsalisがこのアルバムを絶賛し、BLUENOTE東京にて共演するチャンスにも恵まれた。

98年3月、ビートにこだわらない新しいスタイルのジャズを提唱するため新ユニット「SLASH!」を結成。99年8月にSLASH!のデビューアルバム「SLASH!」をEWEよりリリース、高い評価を得る。また世界的トランペッター日野皓正に認められ99年9月から彼のグループにレギュラーメンバーとして参加する。

2000年度、SWINGJOURNAL誌「日本ジャズメン人気投票」でALTO部門第四位、コンボ部門でSLASH!が第六位に急浮上する。

現在、『日野皓正QUINTET』『日野元彦 CLUB TOKO』『SLASH!』『Alto なかよしこよし』『宇川彩子GROUP』『香取良彦(Vib)オーケストラ』『東京 LeadersBigBand』等のレギュラーを務める一方、辛島文雄(P)セッション、大坂昌彦(Ds)セッション等で活躍中。

また、演奏活動のかたわら尚美音楽学園およびDa Capoで講師として教鞭をとる。

<主な参加CD>

- ・『SLASH!』…………… SLASH!(East Warks Entertainment)
- ・『SPIRIT』…………… Club TOKO SEXTET( " )
- ・『TAC TIC』…………… 日野元彦SEXTET( " )
- ・『The TAP』…………… 宇川彩子GROUP(KING RECORDS)
- ・『The GIG』…………… 多田誠司QUARTET(東芝EMI)
- ・『The SEXTET』………… JAZZ WORKSHOP( " ) (ほか多数)

<ライブ情報>

|     |             |              |
|-----|-------------|--------------|
| 7/6 | お茶の水NARU    | 03-3291-2321 |
| 11  | 原宿KEYNOTE   | 03-3470-6101 |
| 14  | 六本木STB139   | 03-5474-0139 |
| 21  | 六本木ALFIE    | 03-3479-2037 |
| 26  | 吉祥寺SOMETIME | 0422-21-6336 |

SEIJI TADA/Alto,Soprano Saxophone & Flute

E-Mail:dada@t3.rim.or.jp  
URL:http://www.t3.rim.or.jp/~dada/

東京玉翠会  
ゴルフ同好会の  
活動報告

昭和19年高中卒業

代表幹事 打越 祐

初夏の爽やかな季節に東京玉翠会も第18回総会を迎えてその集いもますます盛大な趣はご同慶の至りに存じます。

私どものゴルフ同好会も回を重ねるごとに続々と参加者が加わりまして、平成11年10月3日(日)の第11回コンペには、11組42人の同好者が千葉県松尾町の山田ゴルフ倶楽部に参集いたしました。

今回の幹事は昭和50年卒業の淵崎、中山、坂田、田阪、高木の諸君で、企画/連絡/設営などを分担して、手際よく運営され、お蔭様で楽しいプレーを満喫することができました。

最長老は前回と同じく昭和16年高中卒の山田欣一様で、76歳の年齢を感じさせない若々しいプレーぶりでした。懇親会の席でその若さを保つ秘訣のほどをご披露して戴きましたが、要は気持ちの持ち方ひとつということのようです。その他、還暦を越えた方が11名おられ、息子や娘と同じような年齢の後輩たちとプレーできるのも、この会の特徴の一つであります。

今回も女性プレーヤーが5名参加され、男性顔負けの好成績で回っておられました。約束どおり今回もレディース優勝を設けましたが、井上米輝子さまが栄冠を勝ち取られました。

成績につきましては、入賞者以外は企業秘密にして欲しいという強い要望が出されたので、以下に組み合わせ表をご紹介しますに止めました。小国君の連続優勝、垣見君のベスグロ85は立派でした。

なお、第12回コンペは、来る平成12年5月28日(日)、季美の森ゴルフ倶楽部(千葉県)において開催の予定です。多数のご参加をお待ちしております。

## タイムカプセル 開封に向けて

### “美しくたたずむ白亜の校舎”

高高に対してそのような形容が用いられ始めてからもうかなりの歳月が経とうとしています。県内随一の近代的な校舎と充実した学習環境の中で、意欲的に学習や部活動等日々の諸活動に勤しむ生徒達の姿、これが今の高高を象徴する光景と言えるでしょう。ですが、そのような日常の光景から少し目をそらすと、今は閉鎖されている旧正門の辺りにひっそりとではありますが、確かにそれは存在しているのです…。

思い起こせば平成3年3月8日、新校舎での最初の卒業式を終えた本校では、まもなく取り壊されていく旧校舎を送る集いが生徒会の手によって催されました。この日のために生徒達は校舎の隅々まで掃き清め、壁や階段の手摺に丁寧に雑巾をかけて、慣れ親しんだ旧校舎に静かに別れを告げたのです。そして断ちがたい旧校舎への惜別の情を静めるべく、当時の生徒会による「校舎記念企画」の一環として、在校生1570名、教職員約80名が「旧校舎への思い」や「21世紀の自分へのメッセージ」を書き綴った手紙とメッセージカードをタイムカプセルに封印したのです。

あれから早10年。旧正門付近に設けられたメモリアルゾーンには今もあの時のタイムカプセルが眠っています。そして封印から10年の歳月が経とうという今、「タイムカプセル開封式」実行委員会なるものが発足しました。当時の在校生の中で現在香川県に在住している者を中心として、来年1月2日（火）のタイムカプセル開封に向けて現在着々と準備を進めているところです。当時の在校生、教職員が1人でも多く一堂に会せるようにということで日時を設定した訳ですが、当日は、タイムカプセル開封に伴うメッセージカードの配布はもちろんのこと、創立100周年記念行事（H5年）の際に使用したスライドの上

映会、高中・県女・高高的校歌をつないだ「校歌メドレー」や「校舎を送る歌」の演奏等様々な企画を予定しています。また、開封式終了後には学年毎に分かれて旧交を温め合う場というのも設けられるものと思われます。

奇しくも来年は2001年、新世紀幕開けの年です。その記念すべき年に、高高で3年間というかけがえのない歳月を共有した者達が久方ぶりに集うことで、単に昔を振り返って当時の思い出を語り合い、旧校舎への追憶の情をたぎらすにとどまらず、来るべき新世紀と共に更に人生という大海原に力強く漕ぎ出していけるだけの活力を得られれば、と願わずにはられません。

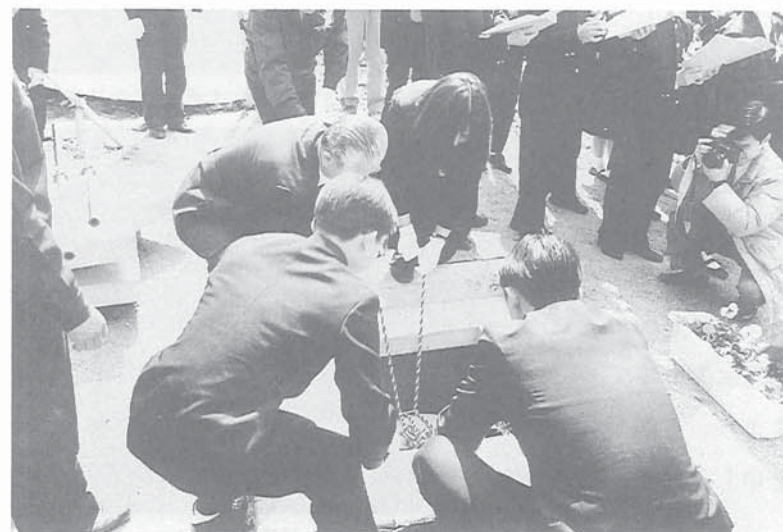
タイムカプセル開封式に関する詳しい内容については、後日当時の関係者の方々にお知らせする予定ではありますが、物心両面での玉翠会挙げてのご支援を賜りたくここにお願い申し上げる次第です。

#### タイムカプセル開封式実行委員会

委員長：神内 克知（H4卒）

副委員長：小国健一朗（H4卒）  
兼近由賀里（H4卒）

事務局：幡鉾 千景（H4卒）  
漆原 静（H4卒）



## 会長杯カップ争奪 第8回大会への誘い

### 囲碁同好会

平成7年9月に誕生した囲碁同好会も、回を重ねること7回、メンバーも約40名を超すまでに成長しました。しかし残念ながら参加者は、最高時で20名少ない時は14名で（前回の平成11年6月の第7回大会）で、今後さらなる参加者を募っています。

発足の際、宮井仁之助前会長よりご寄付いただきました優勝カップに引き続き、今回の第8回大会からは、辻義文現会長ご寄付のカップ（写真）を、使わせていただくことになりました。これを機に会は更に盛り上がっていくことと期待しています。



参加者の顔ぶれ（3名は先にお帰りになりました）

そして第10回大会には、宮井杯の取り切り戦を兼ねたいと考えています。後3回のチャンスに是非参加資格をお取り下さいますよう、下記ご案内を申し上げます。



対局風景

### 第8回大会のご案内

日時 平成12年9月9日（土）  
 集合 12時  
 対局 12時30分～6時  
 懇親会 6時～8時  
 場所 五合庵 中央区銀座7丁目7-9-20  
 （お座敷）ライオン銀座7丁目店4階  
 参加費6500円（ミニ懐石料理共）

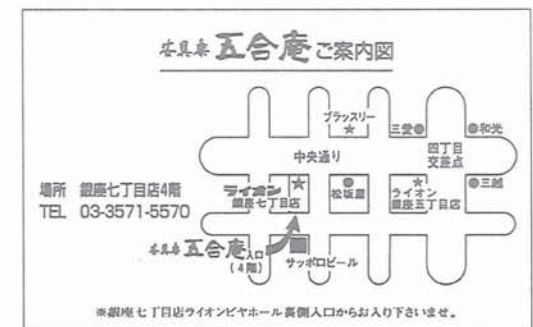


会長杯

皆様お誘い合わせの上、下記幹事迄お申し込み下さい。お忘れなきよう明日にでも手帳にご記入の上ご連絡下さい。お待ちしております。

### 連絡先

- 丸田 晃（昭和25年卒）
- 井上 榮（昭和33年卒）
- 横田 義直（昭和35年卒）



### 美術愛好会

美術愛好会は、東京玉翠会の同好会の一つとして創設されて足掛け3年になります。

これまでには、日本で著名なコレクターの中村文俊氏（高中50回卒）が愛蔵される3500点を越える美術品のうち、二川和之日本画家（高高47年卒）を初め、代表的な優れた絵画を鑑賞し、絵画の鑑賞眼の養い方を学びました。更に、中村先輩の勧めで美術品のオークションに参加し、優れた作品を安価に購入する手ほどきを受けてきました。

加えて、銀座、日本橋、京橋などの画廊を数多く歴訪し、個展開催中の作家と直接作品の説明を受けたりして、鑑賞眼をそれなりに磨いてきました。

昨年9月3日、4日には、「名作と出会う信州の旅」と銘うって、3台の自家用車で8人の会員（参加者氏名、敬称略・卒業順、中村文俊、永野精子、宮本博文、久保醇治、長谷川汎、鴨田昭代、村上雅子、和田裕代）が、一泊二日の美術の旅を実施しました。

最初に「梅野記念絵画館・ふれあい館」（長野県北御牧原村立）が展示している、明治の天才画家・青木繁、菅野啓介、伊藤久三郎の作品について、梅野隆館長から忘却された優れた画家の作品の中に「美」を発見する喜びを教わりました。

とかく美術館が、値の高い絵画や、有名画家の作品ばかりを展示する傾向にたいして、鋭い、本質をつく鑑賞眼が必要であることを認識しました。

初日は、真田幸村の隠し湯のある別所温泉に一泊し、翌日は、大法寺から始まり、青木村郷土美術館をへて、信濃デッサン館で、22歳で夭折した天才画家の村山槐多のデッサンに触れた後、姉妹館の「無言館」では戦没画学生の悲痛な絵画への思いを込めたメモと遺作を、涙をぬぐいながら鑑賞しました。

東京玉翠会員にも、あの戦争で肉親や友人、知人を失った経験をお持ちの方

に、是非とも訪ねて欲しいし、戦争を知らない会員にも、真の平和の尊さを再認識してほしい美術館の一つです。ついで、長野市に足を延ばし、ロートレク画廊と信濃美術館・東山魁夷館を訪問して意義ある「名作と出会う信州の旅」を終えました。

昨年は、以上の取り組みに止どまりましたが、不十分な体制の中でも、急がず焦らず美術愛好会が地道に運営できるよう、東京玉翠会々員の皆さんの格別のご協力をお願いする次第です。東京玉翠会美術愛好会へのご入会を心からお願いいたします。

（文責・高高27年卒 久保醇治）

連絡先…久保醇治（高高27年卒）

鴨田昭代（高高34年卒）



「名作と出会う信州の旅」にて美術鑑賞

## サンバでも盛り上がる 高高神田会

(第一〇回高高神田会報告記)

強烈なサンバのリズムが会場内に響く。

スポットライトを浴びたステージ上では、サンバの羽根飾衣装をつけた10人近いダンサーがサンバのリズムに乗って激しく踊る。背部につけられた羽根飾りも、ある時は小刻みに揺れ、ある時は大きな円を描いて、激しい体の動きに呼応する。サンバのリズムが体から発散する。

こんなステージを楽しみながら、第10回高高神田会「サンバを通してブラジル文化を肌で感じる夕べ」が、今年の5月18日、新宿のショウクラブ「ニューポアント」を2時間貸切って行われた。

ショウクラブの客席に座る30人の参加者に、ブラジルでカーニバル参加の経験のある薮崎千鶴子さん(50年卒)が、講師として、サンバの歴史、リオのカーニバル(Carnaval de Rio)でのカーニバルの盛り上がり振り、ブラジルの地理、リオ(Rio ヒオ と発音すること)とサンパウロのカーニバルの違い、サンバ音楽などの説明がある。

講師から戴いた資料によれば、カーニバルは16世紀にポルトガルからの移民によって始まり、一時鎮圧などの歴史もあり、150年程前に打楽器を叩きながらのパレードとしてのカーニバルが始まったとのことである。また、サンバ音楽は、アフリカ音楽とキューバ音楽などの外国音楽と合わさって、カーニバルのサンバが確立したとのことである。

そんな歴史があったのだ。文化の衝突というものが、新しい素晴らしい文化を創造するという一つの例でもあるのだ。

講演の後は、参加者が実際にサンバのリズムで踊りの稽古なのだ。

ダンスの得意な者も、踊りなんて”一合まいた”以来久しぶりや、という者も、ブラジル娘からステップを教わり、サンバの音楽に合わせて、リズムにのろうとする。唯、足がバタバタしているだけの者も私だけではない。

今回の企画をした中山君(50年卒)、小山君(53年卒)のヒゲコンビも、それに動員を担当した和田さん(50年卒)、小島さん(43年卒)も、なぜか阪神タイガースのハッピーを着て盛り上がり応援している。

最初は高高卒だけにやはり恥ずかしそうに躊躇する者が多かったが、徐々に、

会場の殆ど全員がサンバの輪に参加しはじめる。一番年長の久保先輩や佐藤先輩(27年卒)も、37年の喜岡君、47年の辻君も、49年の岩崎君も、50年の淵崎君もサンバのステップを踏んでいる。平成以降の卒業の若い早川君、太田さん、内田さん達も楽しんでいる。高島監督(48年卒)は、映像担当として、ステージ一杯に踊っている仲間の撮影である。少し遅れた参加の大西先輩(33年卒)は、この会場の雰囲気には啞然としたのか、ダンスに参加せずに、「お前ら、よおやるのー」とばかりにニコニコしている。

ともかくリズムを感じながら体を動かすのは久しぶりである。他人がどう言おうと、盛り上がる。それが我々のサンバなのだ。

音楽を聴きながら、体を動かし汗をかく、というのは、爽快である。

こういう感触を我々が都会生活の中で忘れてしまったのでないか。

人としての本能を忘れてしまった私たちは、よほど不幸な民族ではないか、そんな気すらしてくる。

客席に戻って、つまみに酒を呑みながら、暫し高松弁の会話をする。

ショウタイムは、前述のサンバのみでなく、欧米のショウ風の踊りも加わり、少し大人の時間もある。このダンサーの踊りが気に入った者も少なからずいたようでもあったが、ここでは詳細には触れない。

最後は、再び、参加者とダンサー達全員参加で踊り、踊りの輪が会場内をぐるぐる回り、大声で騒いで、本日のサンバの会は打ち上げとなった。

2時間でサンバを打ち上げた後は、渋谷に移動して、渋谷警察裏にあるうどん「高松」で二次会を行う。

この二次会も殆どの者が参加し、更に、大喜多君、佐藤さん(51年卒)、松野君、長尾さん(53年卒)など真面目に仕事をした人も二次会から出席し、三崎屋先輩のように他所の宴会を終えて覗いたら大盛り上がりで「お前らまだやっとなるんか」と参加される方もいて、25名が定員の座敷は30名を超える者で溢れんばかり。入江君などは通路の椅子席まで溢れて日本酒をやっている。

そこでの会話も大声で高松弁が飛び交う大賑わい。

どうして、こんなに皆んな大きな声で話して、大笑いをするのだろうか、不思議になる程の盛り上がりである。

ここでは最後に釜上げうどんを食して、(足らんぞーという意見が多く、追加に追加を重ねて)、「やっぱり高松人はうどんがすきやのー」と言いながら、二次会も終えた(その後、地元の辻君(51年)の案内で、宮地君らの同期を中心に、土居君なども混じって、三次会をカラオケで楽しんだそうである)。

サンバにうどんの会という会合を終え、夏にはベルギービールを楽しむ会が予定される「高高神田会」まだまだその盛り上がりは続きそうである。

(文責 岡崎洋、

e-mail [cx102735@nifty.ne.jp](mailto:cx102735@nifty.ne.jp))

# 東京玉翠会 ホームページQ&A

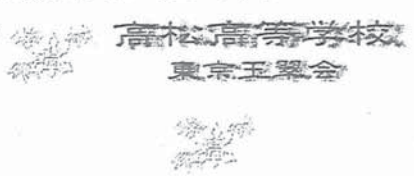
## インターネット研究会

Q インターネット研究会ではどのような活動をしているのですか  
 A 主に、東京玉翠会ホームページの管理を行っています  
 また、昨年の総会では、デジカメで記念撮影をして、その場でプリントアウトして渡すというサービスを行いました

Q ホームページには、どのようなことが掲載されているのですか  
 A 以下の内容のことが掲載されています。

- ①玉翠会総会などに関するお知らせ
- ②各学年のページへのリンク
- ③各クラブOB会のページへのリンク
- ③東京玉翠会内にある各同好会のページ
- ④高々卒業生で活躍中の人たちの紹介
- ⑤各地の玉翠会の活動報告

その他、掲示板が設けられ、みなさんの交流の場を提供しています。



香川ネット廃止に伴い、アドレスが変更になっています。  
 ごらんのアドレスが新しいアドレスです。  
<http://www.sanukaito.gr.jp/~gyokusui/>

お知らせ

美術愛好会の昨年9月の徳州旅行記ができました。  
 第10回神田会は、サンパで盛り上がりました。  
 H5卒のページができました。  
 ジャズベースト編纂委員さん(47卒)のオフィシャルページができました。  
 高々卒業生で活躍中のページの関元さん(53卒)のページアドレスが変更になりました。  
 生物部OB会のページができました。  
 6月9日(土)2時から、タダノ園ビルで、今年の第3回幹事会が開かれます。  
 学年幹事の方は、ご出席下さい。  
 後援-大田陽子(H1卒)さんのプロフィールを訂正しました。  
 7月12日から17日まで中野で公演があります。  
 問い合わせは、「M-オフィス」3377-9335まで。  
 28卒卒の西川さんから、28卒の活動報告がありました。

Q サーバーはどこにあるのですか。  
 A 以前は香川ネットにあったのですが、香川ネットが廃止になったため、現在は鎌田さん(H10卒)の協力を得て、香川県人寮が管理しているサーバー内にあります。

Q ホームページは、東京玉翠会の公認ページですか。  
 A 以前、大西事務局長、会計担当常任幹事前田さん、その他東京玉翠会の諸役員がいる席で、「ホームページの運営費は、東京玉翠会の会計から出したらええやないか」というありがたい言葉をいただいています。

但し、それが酒の席での話しであったので、公認と黙認の間といったところ

- ◎各学年別のページとクラブのページ  
各卒業生ごとのページと、高専のクラブOBのページです。
- ◎高専卒業生で活躍中の人たちのページ  
高松高校卒業生で、各分野で活躍している人を紹介しています。
- ◎高松高校のページ  
高松高校のオフィシャルページ、高専パソコン同好会が維持管理しているそうです。
- ◎東京まゆみマップ(卒業生のお店)  
高専卒業生のお店を紹介。
- ◎新校舎と旧校舎写真展
- ◎第17回(H11.7) 第18回(H10.7) 第19回(H9.7) 第14回(H6.7) 東京玉翠会総会の報告
- ◎東京玉翠会便り 岡山玉翠会便り 徳島玉翠会便り  
東京玉翠会総会プログラムより転載。
- ◎玉翠会役員 学年幹事  
各玉翠会役員と東京玉翠会長の学年幹事名簿
- ◎玉翠会  
このページで案内したいことがあれば、担当者まで。
- ◎掲示板  
みなさんの交流のページです。自由に書き込みができます。
- ◎関西玉翠会のページ
- ◎玉翠倶楽部  
高専卒業生の溜まり場の店を紹介。玉翠倶楽部の会員になると10%オフで飲めます。
- ◎高々神田会  
神田周辺で働いている卒業生でつづいた会です。
- ◎ゴルフ同好会 インターネット研究会  
東京玉翠美術愛好会 囲碁同好会  
テニス同好会 オリエンテーリング同好会  
玉翠会では各種同好会がつけられ、世代を超えた交流が始まっています。
- ◎香川県の情報に関するリンク集  
ここをみれば、香川県の情報が分かります。
- ◎おぬきうどんのリンク集  
おぬきうどんのページをみて、得意の際、おぬきうどんツアーをしてみてください。

## 東京玉翠会掲示板

文字の大きさは、ブラウザの機能を利用して変更してください。  
 168時間以内の発言は赤で表示されます。19ツリ-アツ表示

[新規投稿] [ツリ-表示] [匿名投稿] [タイトルコメント]  
 [前の10ツリ-] [次の10ツリ-]  
 1 / 8

- ◎自分の履歴は自分で見る-奈良信雄 (54卒) 10/9-16:30 No. 127
- ◎大田陽子先生公遺-大田陽子 10/9-16:30 No. 126
- ◎貴の思い出-かんとく 10/9-16:30 No. 125
- ◎タイムカプセル-ながお (H4) 10/9-11:20 No. 124
- ◎100歳まで健康-54卒 安部忠明 10/9-11:10 No. 123
- ◎H10卒生の人見てますか2-H10卒内海雅晴 10/9-11:10 No. 122
- ◎新-足物屋 発行-54卒安部忠明 10/9-11:10 No. 121
- ◎新-足物屋 発行-54卒安部忠明 10/9-11:10 No. 120
- ◎新-足物屋 発行-54卒 安部忠明 10/9-11:10 No. 117
- ◎100歳まで健康-54卒 安部忠明 10/9-11:10 No. 123
- ◎100歳まで健康-54卒 安部忠明 10/9-11:10 No. 122
- ◎100歳まで健康-54卒 安部忠明 10/9-11:10 No. 121
- ◎100歳まで健康-54卒 安部忠明 10/9-11:10 No. 120
- ◎100歳まで健康-54卒 安部忠明 10/9-11:10 No. 119
- ◎100歳まで健康-54卒 安部忠明 10/9-11:10 No. 118
- ◎100歳まで健康-54卒 安部忠明 10/9-11:10 No. 117
- ◎100歳まで健康-54卒 安部忠明 10/9-11:10 No. 116
- ◎100歳まで健康-54卒 安部忠明 10/9-11:10 No. 115
- ◎100歳まで健康-54卒 安部忠明 10/9-11:10 No. 114
- ◎100歳まで健康-54卒 安部忠明 10/9-11:10 No. 113
- ◎100歳まで健康-54卒 安部忠明 10/9-11:10 No. 112
- ◎100歳まで健康-54卒 安部忠明 10/9-11:10 No. 111
- ◎100歳まで健康-54卒 安部忠明 10/9-11:10 No. 110
- ◎100歳まで健康-54卒 安部忠明 10/9-11:10 No. 109
- ◎100歳まで健康-54卒 安部忠明 10/9-11:10 No. 108
- ◎100歳まで健康-54卒 安部忠明 10/9-11:10 No. 107
- ◎100歳まで健康-54卒 安部忠明 10/9-11:10 No. 106
- ◎100歳まで健康-54卒 安部忠明 10/9-11:10 No. 105
- ◎100歳まで健康-54卒 安部忠明 10/9-11:10 No. 104
- ◎100歳まで健康-54卒 安部忠明 10/9-11:10 No. 103
- ◎100歳まで健康-54卒 安部忠明 10/9-11:10 No. 102
- ◎100歳まで健康-54卒 安部忠明 10/9-11:10 No. 101
- ◎100歳まで健康-54卒 安部忠明 10/9-11:10 No. 100

1 / 8  
 [前の10ツリ-] [次の10ツリ-]  
 [記事検索] [カスタマイズ] [記事管理] [過去の記事] [戻る]  
 掲示板管理人 Kunitake Kaneko

でしょうか。

Q インターネット研究会の会員は何人いるのですか  
 A 会員は不明です。実態があってないようなものです。

Q 私も参加することができますか  
 A できます。各学年のホームページをつくってくればそこにリンクします。同じ学年で、東京と高松など、別々につくってもかまいません。すべてリンクします。また、高々に関するページをつくってくれば、それが高々に関する限り、リンクします。以上のような形で参加することもできますし、「こんなアイデアがあるんやけどの」という方がいれば、直接ご連絡下さい。直ちに、神田周辺で、夜6時から、インターネット研究会臨時会議を行います。

土居範行 (47年卒)  
 ホームページアドレス  
<http://www.sanukaito.gr.jp/~gyokusui/>

## 学年別・部活動OBのページ

学年別のページ  
 S61卒というのは昭和61年3月に卒業した人のことです。

|      |                      |      |      |      |
|------|----------------------|------|------|------|
| 高中会  | 晩翠会                  | S24卒 | S25卒 | S26卒 |
| S27卒 | S28卒                 | S29卒 | S30卒 | S31卒 |
| S32卒 | S33卒                 | S34卒 | S35卒 | S36卒 |
| S37卒 | S38卒                 | S39卒 | S40卒 | S41卒 |
| S42卒 | S43卒(高松)<br>S43卒(関西) | S44卒 | S45卒 | S46卒 |
| S47卒 | S48卒                 | S49卒 | S50卒 | S51卒 |
| S52卒 | S53卒                 | S54卒 | S55卒 | S56卒 |
| S57卒 | S58卒                 | S59卒 | S60卒 | S61卒 |
| S62卒 | S63卒                 | H元卒  | H2卒  | H3卒  |
| H4卒  | H5卒                  | H6卒  | H7卒  | H8卒  |
| H9卒  | H10卒                 | H11卒 | H12卒 | -    |

クラブ別のページ

|         |     |     |     |   |
|---------|-----|-----|-----|---|
| プラスバンド部 | 地学部 | 音楽部 | 生物部 | - |
|---------|-----|-----|-----|---|

高松高専  
 11112 Top Pageに戻る



## 東京玉翠会会員の 集いの場 「玉翠倶楽部」をご存知ですか？

一昨年7月に日頃から皆様方が気軽に集える場所として「玉翠倶楽部」が誕生しました。

東京玉翠会総会も皆様方の母校愛の賜物から今年で18回目を迎え、国内においても類を見ない規模の同窓会へと発展してまいりました。しかし、時代は流れ、規模も大きくなるにつれて、学年を越えた先輩と後輩の交流といったようなものが、ややもすると薄れがちであることも現実です。

\*

東京玉翠会が益々強い絆をもって発展していくことを願い、「先輩も後輩も一緒に」「和気あいあいと」「そこに行けば玉翠に」という3つのコンセプトのもと、「皆が気軽に仕事の帰りに集える店」をご紹介させていただきます。理想は、銀座界隈で十人程がカウンターに座ればいっぱい、こじんまりとした店、うまいおでんをつつきながら一杯呑めて、先輩も後輩も一緒に話に花を咲かせることのできる店、ビールが足りなくなったら自分で冷蔵庫から取り出すような気を使わない店、こんな条件をすべて満たすことのできる店でした。ある意味では一番贅沢なことかもしれません。

今回の「玉翠倶楽部」には都内で玉翠会に縁のある5店舗にご賛同いただきました。焼き鳥の店であったり、カラオケの店であったり、ショットバーであったりと、バラエティに富んだ構成になっております。会員証を提示すれば、なんと飲食代が10% Off!! その上、讃岐弁がバリバリ話せて、バリバリ聞ける!!先輩と後輩の絆も深まる!! 是非、「玉翠倶楽部」会員(もちろん会費無料)になりませんか？

\*

現在の加盟ご協力店5店舗をご紹介します。(順不同)

- ① 焼き鳥 鳥仲 (中野京子 38年卒) TEL 03-3661-8748  
中央区日本橋茅場町3-2-3 (地下鉄茅場町駅から徒歩5分)
- ② スナック アイビー (渡辺浩 31年卒) TEL 03-3983-2720  
豊島区池袋1-22-5 サンケエビルB1 (JR池袋駅東口・徒歩5分)

46

③ BAR DUO (小川榮治 48年卒) TEL 03-3367-4352

新宿区高田馬場 (JR高田馬場駅・さかえ通り一番奥左側)

④ ショットバー ステラ TEL 03-3572-2058

中央区銀座8-8-17 伊勢萬ビル1F・2F (博品館うら・金春通り)

⑤ スナック チロ TEL 03-3353-9847

新宿区(四谷)三栄町16番地 (JR四谷駅から徒歩5分)

\*お店に行ったら、必ず会員証を先にお見せ下さい。

\*

現在の会員数は65名。こちらにご紹介します。(順不同)

若松昭二 (高中19) 丸吉幸也 (高中23) 永野精子 (高高27) 白井勝子 (高高30)  
渡辺浩 (高高31) 綾野仁嗣・宮井雄二・武藤満雄・前川勲・浅田裕・大西昭一郎 (高高33) 鴨田昭代 (高高34) 山本晴男・本田道明・藤原典雄・斉藤寿良 (高高35) 岡崎洋・喜岡俊英 (高高37) 打越暉芳 (高高38) 末包昭彦 (高高40) 林小夜子 (高高42) 鏡原満・北山恭尚 (高高43) 池上晴英 (高高45) 田中康博 (高高46) 土居範行・二川和之・塚本国男 (高高47) 原貴美子・久本吉亮・川原一芳・大川哲生・多田泰三 (高高48) 北村篤孝・香西靖仁・武田恭明・柳谷護・岩崎昭宏 (高高49) 中山易典・池田達彦・三谷勝明・池上みどり (高高50) 大喜多俊彦 (高高51) 長尾みどり・松元文一・松野和彦 (高高53) 太田理・藤沢昌弘・池内久徳・三好英彦 (高高56) 佐々木英夫・靱恭彦・藤井工・町田聡 (高高58) 原木俊哉 (高高60) 東幸弥・岡本吉剛・奥本和幸・玉木雄一郎・湯浅康司・池田康之・田川司・西村公佑・杉内信夫・西岡幸治 (高高63)

\*たくさん先輩や後輩が讃岐弁で話したがつてます。是非、どうぞ!!

提案人: 大西昭一郎 (高高33年卒)

協賛人: 岩崎昭宏 (高高49年卒: )

三好英彦 (高高56年卒: )

E-mail: hidehiko\_miyoshi@isucorp.co.jp)

\*この件に関する問い合わせは、岩崎・三好までお願い致します。

47

## 「輝ける21世紀に 思いを馳せて」

関西玉翠会

平成12年度幹事（昭和44年卒）

内田 渉

東京玉翠会の第18回総会が、「20世紀のフィナーレ そして21世紀へ～過去と未来を語る夕べ～」のテーマのもとに盛大に開催されますことを、心よりお祝い申し上げます。

関西玉翠会におきましても、今年度の第7回総会を、来る8月26日（土）16：00ホテルニューオータニ大阪で開催を予定しております。テーマを「輝ける21世紀に思いを馳せて」とし、同窓会という原点に戻り、母校を同じくする者同士が、年に一度、世代を越えて職務を離れて、真にくつろげ旧交を暖めあえる、また新しい出会いが生まれる、そういう総会になればと思い、現在鋭意準備を進めている最中です。多くの皆様よりご協賛頂き、出し物についても、ピアニスト、応援団、司会者として、ご協力頂けることになりました。誌上をお借りいたしまして御礼申し上げます。特に、応援団の皆様には、昨年引き続き、東京を始め全国から大勢駆けつけていただけますとのこと、昨年度の関西玉翠会では、添付させていただきます写真のとおり、大変なハッスルぶりです。大いに総会を盛り上げていただきました。母校は高校野球の昨年秋の香川県大会で2位、そして四国大会ベスト4という近年まれな好成績を残し、香川県大会決勝で丸亀高校に勝っていれば、今春の甲子園出場の可能性もあったとか。甲子園球場の晴れ舞台で、再度、この見事な応援ぶりが拝見できないのでしょうか。今年の夏の高校野球香川県大会の結果が今から楽しみで、ぜひがんばって快挙を成し遂げてもらいたいものです。

今年5月の連休を利用いたしまして、新築以来はじめて、母校を訪問いたしました。駐車場と併設されたという事で心配していたのですが、冷暖房完備のオフィスビルのようにりっぱな校舎で、少し運動場が狭くなった感じですが、生徒の皆さんの表情からも充実した高校生活の様子が伺え心強く感じました。

さて、関西支部におきましては、毎年50歳に到達する年次が幹事を担当いたします。これは、この年代ぐらいになると、公私ともに自分で行動予定の自由が利くようになり、会場の手配や来賓へのご案内、協賛依頼等がスムーズに運

ぶのではという理由で決められたそうです。かつて、信長の時代には人生50年でしたが、今や50歳というと人生の折り返し点、心身ともに脂の乗った時期であるとともに、第2の人生に向かっての準備を始める時期ではないかと考えます。

玉翠会に参加させていただき、ただ母校を同じくするという理由だけで、このように多くの方々と知り合え、親しく懇談ができる機会を持つことができるということは、自分の人生における貴重な財産ではないかと感じています。玉翠会の今後益々の盛会を祈念し、微力ですがお手伝いをさせていただく所存です。

### 関西玉翠会

|         |                 |
|---------|-----------------|
| 名 誉 会 長 | 芦原 義重 (大正 7年卒)  |
| 会 長     | 藤井 義弘 (昭和18年卒)  |
| 副 会 長   | 大野 担 (昭和13年卒)   |
|         | 川口 正子 (昭和16年卒)  |
|         | 筑瀬 恵美子 (昭和17年卒) |
|         | 島田 清隆 (昭和26年卒)  |
| 顧 問     | 大社 義規 (昭和 7年卒)  |
| 事務局代表幹事 | 内田 渉 (昭和44年卒)   |
| 事 務 局 長 | 筒井 博司 (昭和43年卒)  |
|         | 坂東 啓一郎 (昭和44年卒) |



## ミレニアム第18回 東京玉翠会総会開催を祝して

太田 武夫 (岡山玉翠会副会長)

東京在住の玉翠会会員の皆様、18会総会の盛大な開催を心よりお慶び申し上げます。全国でも屈指の伝統を誇るこの会が例年通り賑やかに、和気藹々と開かれる様子が伝わってくるようです。

こちら昨1999年度岡山玉翠会第21回総会の様子を皆様にご報告いたします。会は岡山駅前のホテルグランヴィア岡山で平成11年11月14日に母校より秋山忠校長、天野、田村先生、大西大介玉翠会副会長、塚本香川県県議会議員のご出席を頂き、またご多端の中を真鍋武紀県知事にもご出席頂いて、約60名の参加で開催されました。司会役には昨年同様西日本放送の鴨居真理子さんがわざわざ高松から駆けつけて頂きました。岡山玉翠会はまさしくローカルな会で、東京や関西玉翠会とは規模ではとても比較にならない会ですが、そのかわり懇親会に移りますと、卒業年度を越えて、ほとんど全員の方と酒を注ぎあったり、話し合ったりすることができる会であることが特徴です。

またそんな会に親しみを持って、各地から、あるいは例年のように駆けつけて頂ける方もいてありがたい限りです。

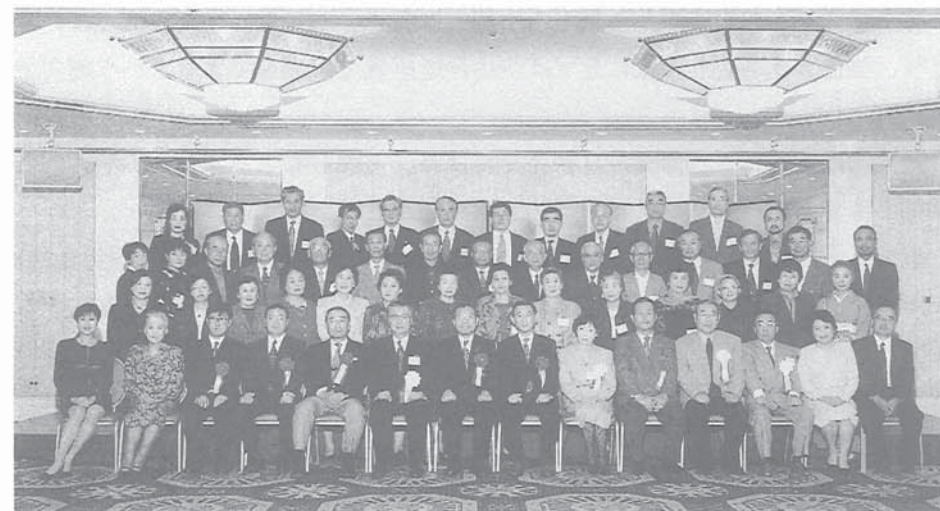
いつからか、この会ではビンゴゲームも開かれ、ささやかな予算と役員方の持ち寄り景品で楽しむようになっております。最後には校歌を斉唱しますが、会の終了後はまた皆うち揃って二次会に行くのも定例になっておりまして、賑やかに校歌ならぬ好歌のカラオケのど自慢が開催されます。

今回は真鍋知事のご来岡で、34年卒の河野副会長が中心の歓迎二次会ももたれました。この会は卒業年次で当番をするほどの組織ではありませんので、あまり変わらぬ役員で続けており、若手の参加が期待される現況です。もしご存じの同窓が近辺におられましたらどうぞ声をおかけいただきたいと思います。

いよいよ、21世紀へ最後の年を迎え、一段のご発展を期待して、東京の皆様には51年卒の皆様のお世話のもと、盛大な会になりますよう繰り返しお祈り申し上げます。

### 岡山玉翠会

|         |                |
|---------|----------------|
| 会 長     | 辻 孝夫 (昭和30年卒)  |
| 副 会 長   | 太田 武夫 (昭和32年卒) |
|         | 河野 一郎 (昭和34年卒) |
|         | 篠原 妙子 (昭和17年卒) |
| 事 務 局 長 | 入船 健一 (昭和28年卒) |



第21回 岡山玉翠会総会 於 ホテルグランヴィア岡山 H11.11.14 撮影 三宅

## 新世紀の徳島玉翠会

徳島玉翠会会長

松浦 健司

新しいミレニアムの記念すべき年、しかも、その2000年の後半折り返し初日に当たる7月1日に、第18回東京玉翠会総会が盛大に開かれますことを、徳島玉翠会を代表して心からお慶び申し上げます。

徳島玉翠会の近況をお知らせする前に、例によって徳島の周辺環境のご説明、ご紹介をさせていただきます。このところ、毎年、本四架橋の話題から書いて来ましたが、今年もまた「橋」からです。この原稿を書いて（打って）いるさなかの4月22日、徳島と淡路島を結ぶ大鳴門橋に新しい観光の名所が誕生しました。名付けて『渦の道』。橋面の下側、本来は新幹線の鉄道が走るはずだったスペースが、空白の空間になっているのがもったいないとそのスペースを利用して、鳴門市側から長さ480メートルの遊歩道を造ったのです。名物の大渦を海上45メートルの空中から見下ろす迫力は満点。しかも、高所恐怖でない方なら、強化ガラス張りの床に立てば空中浮遊感覚で観潮もできるという趣向です。

渦見物にわざわざ首都圏から徳島まではね、とおっしゃるあなた。淡路島では花の博覧会「ジャパンフローラ2000」が開かれていますよ。

徳島を一端とする高速道・四国縦貫道の最大の泣き所であった池田（徳島県）一川之江（愛媛県）の未開通区間も今春やっと完工し、四国四県都を直結する「Xハイウエー」が完成、直通バスも運行されていますので、四国島内交通の時間距離は随分縮まりました。明春には、高松から板野（鳴門市の西の隣接町）まで四国横断道が開通するなど、21世紀に向けた交通インフラは整備がすすみます。

それに引き換え、わが徳島玉翠会の方は特筆すべきトピックスがないのが残念です。メインイベントの第7回総会を99年11月14日、恒例の会場であるJR徳島駅ビル・ホテルクレメントで開きました。玉翠会本部から副会長の岩部隆、南繁文両氏、母校から溝渕利博教頭先生、寺師明美、清谷守之両先生をお迎えし、徳島の会員約40人がご来賓の方々や会員相互との懇談、懇親を深めました。

母校の野球部が翌春の甲子園大会に出場できるかどうかの最終関門となる四国大会が、総会の翌週に徳島で開かれる直前だったので、話題も豊富で大いに盛り上がり、例年にも増して楽しい総会となりました。

玉翠会の中では末弟の徳島玉翠会も満6年を過ぎ、よちよち歩きからやっと小学生になりました。今年は陣容を立て直し、マンネリ打開をと考えています。今後ともよろしく願い申し上げます。

### 徳島玉翠会

|         |                                |
|---------|--------------------------------|
| 会 長     | 松浦 健司（昭和26年卒）                  |
| 副 会 長   | 磯部 淳一（昭和29年卒）<br>岩井 武子（昭和20年卒） |
| 事 務 局 長 | 阿部 成夫（昭和42年卒）                  |



第七回徳島玉翠会総会 平成11年11月14日 於 ホテルクレメント徳島

# 高松中學校校歌

(大正4年9月制定)

作詩 藤井静夫  
作曲 安田俊高

Moderato



1. あさひかがやくやしまやま さざなみ  
よする たまもうらへーい わみなぎるそのひび  
き せーいきあふるそのひかり わがまな  
びやにーみちみちて いそしむけんじ  
いっせんよ せひるがへせー

(電脳浄書/音源 26: 河江一仁)

- 一、朝日輝く屋島山  
小波寄する玉藻浦  
平和漲る其の響  
生氣溢るゝ其の光  
我が學舎に充ち満ちて  
勤しむ健兒一千餘
- 二、御稜威と共にいや高く  
朝夕仰ぐ嶺は  
日嗣の皇子の行啓の  
千代に朽ちせぬ記念なる  
奮闘努力の健男兒  
ゆめな忘れそそのかみを
- 三、巖冬霜雪色變へぬ  
紫雲の松を名に負へる  
我が中學の健兒等よ  
堅忍不撓功遂げて  
屋島山頭いや高く  
名譽の旗を翻せ……翻せ

# 高松高等女學校校歌

(大正3年9月14日制定)

作詩 小原虎一  
作曲 内藤蝶

Andante

*mp*



1. みれどもあかぬたまものうらーち  
ひろのそこーにしづーくなるーそ  
のしらたまーのうるーはしきーき  
よーきこころをみがかむみがかむを  
とーめわれー 2. あとーめわれー

(電脳浄書/音源 26: 河江一仁)

- 一、見れども飽かぬ玉藻の浦  
千尋の底にしづくなる  
その白珠の麗はしき  
清き心を磨かむ  
磨かむ……をこめわれ
- 二、朝夕仰ぐ屋島の山  
峰の上はるかに並び立つ  
その山松の色變へぬ  
高き操を守らむ  
守らむ……をこめわれ
- 三、開くる御代の幸多き  
身にはつとめもさはなれば  
うら若き日をたゆみなく  
をみな業を習はむ  
習はむ……をこめわれ
- 四、いや榮ゆく皇國の  
生ける効ある御民ぞと  
仁慈あまねき大君の  
みこと畏み盡さむ  
盡さむ……をこめわれ

# 高松高等学校校歌

(昭和26年12月17日制定)

作詩 河西新太郎  
作曲 芥川也寸志

con brio (♩=108)  
mf

1. せ い き ー あ ら た な ひ に は え て あ さ く も に お う

や し ま や ま お ー ま ゆ き よ き わ こ う ー ど が

こ う が く の ね ん ゆ る き な く は つ ら つ こ そ

1. 2. 3.

る い き を み よ よ

(電腦浄書/音源 26 : 河江一仁)

- 一、世紀新たな陽に映えて  
朝雲匂う屋島山  
おゝ眉清き若人が  
向学の念揺ぎなく  
深刺拳る意気を見よ
- 二、平和輝く波よせて  
鏡と澄める玉藻浦  
おゝ純潔の若人が  
真理の道を究めゆく  
独立自主の熱意見よ
- 三、仰ぐ紫雲の松風に  
雪持笹のさみどりに  
おゝ希望わく若人が  
自由と愛の血に燃ゆる  
わが高松高校の自治を見よ

# 高松高等学校校友会の歌

(…朝日輝く…)

作詩 藤井静夫  
作曲 不詳

Moderato

1. あ さ ひ か が や く や し ー ま や ま さ

さ な み よ ー す る た ま も う ら へ い わ み な

ぎ る そ の ー ひ び き せ い き あ ふ ー る る そ

の ひ か り わ が ま な び や に み ち み ち て い ー

1. 2.

そ し む け ん じ い っ せ ん よ せ

(電腦浄書/音源 26 : 河江一仁)

- 一、朝日輝く屋島山  
さざ波寄する玉藻浦  
平和みなぎるその響き  
精気あふるるその光  
我が学舎に満ち満ちて  
いそむ健児一千余
- 二、厳冬霜雪色変えぬ  
紫雲の松を名に負える  
我が高松の健児らよ  
堅忍不撓功遂げて  
屋島山頭いや高く  
名誉の旗をひるがえせ



### 高高 高高

1. 高高 高高 高高 栄えあるその名  
高高 高高 高高 我等が母校
2. 高中 高中 高中 栄えあるその名  
高中 高中 高中 我等が母校
3. 高女 高女 高女 栄えあるその名  
高女 高女 高女 我等が母校
4. 高高 高高 高高 栄えあるその名  
高高 高高 高高 我等が母校

### ここは讃岐か

1. ここは讃岐か 高松街か  
高松街なら中学は高中
2. 中学高中の 書生さんは  
度胸一つの男伊達
3. 度胸一つでバンド(明善)の前を  
歩いていきます作業服で
4. 作業服なら 高中の育ち  
ボロは俺らの旗印
5. ボロをまとえど 心は錦  
どんなことにも恐れはしない
6. どんなことにも恐れはせぬが  
可愛いあの娘にゃかなわない
7. 可愛いあの娘は いつでも捨てる  
国のためなら命までも
8. 命捨てれば 名前が残る  
中学高中の名が残る  
ついでに 俺らの名も残る



## 東京玉翠会会則

### 第一章 総 則

(名 称)

第 1 条 本会は東京玉翠会という。

(目 的)

第 2 条 本会は会員相互の連絡と親睦を図り、母校の発展を期することを目的とする。

(事 業)

第 3 条 本会は前条の目的を達するため次の事業を行う。

- (1) 会員相互の連絡、親睦を図るための会合、行事
- (2) 会報、会員名簿の発行
- (3) 母校の発展に寄与すると認められる事業

(事 務 局)

第 4 条 本会の事務局を東京都内に置く。

(会則改正)

第 5 条 本会則の改正は幹事会の決議による。

### 第二章 会 員

(会 員)

第 6 条 本会は、香川県立高松中学校、同高松高等女学校、同旧高松高等学校、同旧高松女子高等学校及び同高松高等学校(以上五校を母校という)の卒業生(これに準ずる者を含む。以下通常会員という)ならびに母校の旧職員(以下特別会員という)で東京都及びその周辺に在住する者をもって組織する。

(部会の設置)

第 7 条 1 第 3 条の事業を行うため母校別の部会を置くことができる。  
2 部会の運営はその所属会員の協議による。

(会 費)

第 8 条 1 通常会員は年会費を納入しなければならない。

2 年会費の額は、毎年常任幹事会の決議によりこれを定める。

### 第三章 役員

(役員)

第9条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 若干名
- (3) 常任幹事 若干名
- (4) 事務局長 1名
- (5) 幹事 その員数は次条第2項の定めによる
- (6) 監事 3名

(役員を選出)

第10条 1 会長及び副会長並びに監事は総会において選出する。  
2 幹事は各卒業年次毎に通常会員の互選により各1～2名を選出する。  
3 常任幹事は会員の中より会長が指名する。  
4 常任幹事のうち1名を事務局長、1名を会計担当として会長が指名する。

(任期)

第11条 役員任期は2年とし重任を妨げない。但し補欠により就任した役員任期は前任者の残任期間とする。

(役員職務)

第12条 1 会長は本会を代表し、会務を統括する。  
2 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは会長の職務を代行する。  
3 常任幹事は常任幹事会を構成し重要な事項の審議、決定を行う。  
4 幹事は同期生の消息を把握しその連絡にあたるほか、幹事会を構成して会務の執行を決する。  
5 監事は本会の会計を監査する。

### 第四章 会議

(総会)

第13条 1 総会は会長の招集により毎年1回開催する。  
なお必要ある場合には臨時総会を開催することができる。  
2 総会においては、次の行事を行う。  
(1) 会務及び会計報告  
(2) 会員の親睦を図る行事  
(3) 本会の運営に必要な事項の決定

(幹事会・常任幹事会)

第14条 幹事会、常任幹事会は必要の都度会長が招集する。

(議長)

第15条 総会、幹事会、および常任幹事会の議長は会長があたる。

(議決)

第16条 総会、幹事会、および常任幹事会の議決は出席者の過半数をもってこれを行う。可否同数のときは議長の決するところによる。

### 第五章 会計

(会計)

第17条 本会の会計は年会費及び寄附金その他の収入による。

(会計年度)

第18条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月末日に終る。

### 第六章 その他

(顧問)

第19条 1 本会は常任幹事会の推薦により顧問を置くことができる。  
2 顧問は会議に出席し意見を述べることができる。

### 附 則

第1条 本会則は昭和58年6月25日より施行する。



## 寄贈図書目録

皆様にご協力いただきました母校図書購入資金で  
下記の図書が、特別コーナーを設けて揃えられてお  
ります。今年もなにとぞご協力をお願いいたします。

| 年 度 | 出 版 社    | 書 名                            | 巻数    |
|-----|----------|--------------------------------|-------|
| 平成元 | 清水書院     | 人と歴史シリーズ                       | 5 2   |
| 元   | NHK出版    | 驚異の小宇宙・人体                      | 8     |
| 2   | 未来社      | 宮本常一集                          | 4 3   |
| 2   | 平凡社      | 東洋文庫「日本の古典」                    | 1 0   |
| 2   | 平凡社      | 東洋文庫「日本の風俗と社会」                 | 1 3   |
| 3   | 平凡社      | 東洋文庫「アラビアン・ナイト」                | 1 7   |
| 3   | 平凡社      | 東洋文庫「智恵の七柱」                    | 3     |
| 3   | 平凡社      | 世界の民族                          | 2 0   |
| 4   | 平凡社      | 南方態楠全集                         | 1 2   |
| 4   | 角川書店     | 鑑賞日本古典文学                       | 3 6   |
| 5   | 科学新興社    | モノグラフ数学                        | 2 6   |
| 5   | 講談社      | 世界の大遺跡                         | 1 3   |
| 5   | 河出書房新社   | 新文芸読本                          | 1 3   |
| 6   | 新潮社      | カフカ全集                          | 1 2   |
| 6   | 清水書院     | 人と思想                           | 1 2 1 |
| 6   | OXFORD   | Oxford Children's Encyclopedia | 7     |
| 7   | 岩波書店     | 幸田文全集                          | 1 5   |
| 7   | 岩波書店     | 1000万人のコンピュータ科学                | 3     |
| 7   | 集英社      | 中上健次全集                         | 9     |
| 8   | 集英社      | 中上健次全集                         | 6     |
| 8   | 岩波書店     | 幸田文全集                          | 1 3   |
| 8   | 岩波書店     | 丸山眞男全集                         | 8     |
| 9   | 文泉堂      | 壺井栄全集                          | 1 0   |
| 9   | 日本図書センター | 作家の随想                          | 1 0   |
| 1 0 | 朝倉書店     | 図説 世界文化地理大百科                   | 5     |
| 1 1 | 朝倉書店     | 図説 世界文化地理大百科                   | 4     |
| 1 1 | 岩波書店     | 志賀直哉全集                         | 1 4   |

皆様のご芳志に対して、心から厚くお礼を申し上げます。  
ご芳志を上記の図書にかえて、「同窓会寄贈文庫」の銘を付し、  
在校生・職員等の閲覧に供してまいりますことをご報告いたします。  
平成12年4月 高松高校図書館

## 祝

# 第18回東京玉翠会総会

第18回東京玉翠会に

ご協力ありがとうございました。

物品等をご寄贈頂いた方々

(順不同・敬称略)

(株)志満秀

エビス生命(株)

(株)宗家くつわ堂

日本ハム(株)

綾菊酒造(株)

日産自動車(株)

(株)うどんの庄かな泉

(株)三越

一和堂工芸(株)

(株)電通

(株)東海屋

東京プリンスホテル

ソニー生命(株)

細溪美古

(株)ジャパンアパレル・サービス

51年卒業生有志



コンサルティング  
から、はじめます。



スペシャルライフプランナー  
(プログラムリーダー)  
三好 英彦 (昭和56年卒)

ライフプランナー  
原木 俊哉 (昭和60年卒)

品川ライフプランナーセンター 第1支社

TEL: 03(3493)6211 FAX: 03(3493)6760

法人リスクマネジメントのご相談は上記までご相談下さい。

コンサルティングから、はじめます。

**ソニー生命**

ライフプランナー、代理店にご相談ください  
お客さまフリーダイヤル 0120-158821  
インターネットホームページ  
http://www.sonylife.co.jp/

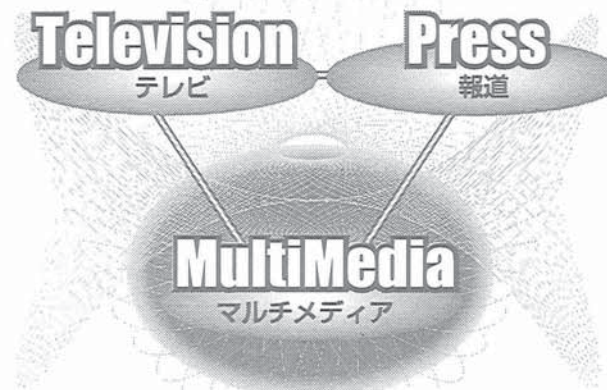
ソニー生命保険株式会社

本社:〒107-8585 東京都港区南青山1-1-1 南青山ビル東館



あなたを知って、あなたとつくる。  
オーダーメイドの生命保険。  
この先きつとどういふことがあってもあなたの人生に届きます。10年先、20年先のシミュレーション。思い描く未来を具体的に描き出す。あなたの未来は誰かのために描かれた「100」である。人生も、ひとりひとりで描く。健康、教育、結婚、育児、老後の生活。あなたの未来は、あなた自身で描く。ソニー生命のライフプランナーは、リスクマネジメントの専門家です。  
あなたとつくる。オーダーメイドの生命保険。

瀬戸内海放送は、テレビ局の枠を超えた  
「マルチメディアプロデュース企業」  
を目指して独自の事業展開を進めています。



通年採用実施中!!

キャリアアップを目指している方  
私たちと一緒に

「元氣創出ステーション」  
を作っていますか?

メディアの多様化、デジタル放送化などはっきり言って、テレビ局をとりまく状況は厳しく生き残りかけた競争にさらされます。これからのマルチメディア時代を切り開いていくのに最も必要なもの、それは、「創造」と「改革」に向かう社員ひとりひとりのエネルギーです。  
KSB瀬戸内海放送では私たちと一緒にって視聴者から愛され信頼される「元氣創出ステーション」を作り上げていきたい方を求めています。

一般職  
技術職  
アナウンサー職  
募集職種  
他業種からの応募も大歓迎!!

詳しいことは  
連絡先/高松市西宝町1-5-20  
経営管理部 黒田、佐藤まで  
TEL(087)862-1111  
E-Mail saiyou@ksb.co.jp



**KSB 瀬戸内海放送**

◆高松本社/〒760-8581 高松市西宝町1-5-20 TEL(087)862-1111(経営管理部) FAX837-7053  
◆岡山本社/〒700-8581 岡山市大井3-1-18KSB会館 TEL(086)227-1111(総務部) FAX221-8518

TADANO

ニュートン。

50t、35t、25t、16t、10t吊りに  
新たに20t吊り (NEW TON) が加わった。  
タダノのラフテレーンクレーン「クレヴォ」。  
現場が求めるパワーがずらり揃った  
まさに「万有」ともいえる充実ぶり。  
大きな仕事の、大きな力です。



CREVO 200

「クレヴォ」6つのパワーでフルラインアップ。

**CREVO**  
500 350 250 200 160 100

株式会社 タダノ 本社/香川県高松市新田町甲34番地 TEL.(087)839-5555(代表)  
東京事務所/東京都墨田区亀沢2丁目4番12号タダノ両国ビル TEL.(03)3621-7777(代表)



太平洋セメント株式会社

〒101-8357 東京都千代田区西神田3-8-1 <http://www.taiheiyo-cement.co.jp>

各地発送承ります。

天  
比  
羅

煌めきの...



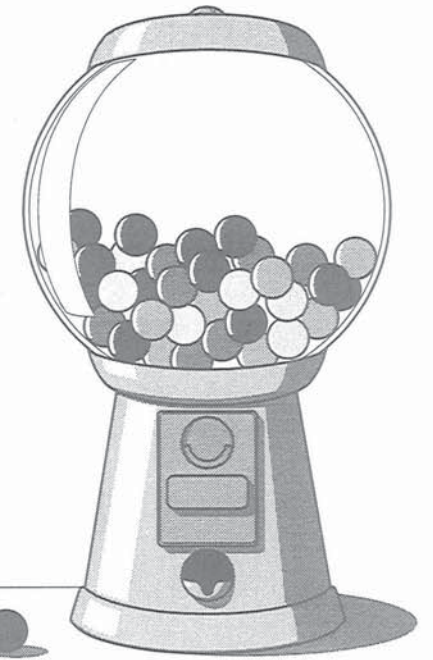
いち にち こと ころ じつ  
日々是好日



屋島アーチェリー通り  
**東海屋**  
香川県高松市屋島東町1121-1  
TEL (087) 844-1112代  
FAX (087) 844-0188 番

お問合せは  **0120-801112**

さて、21世紀の  
東京玉翠会はいかにあるべきか？



答えは、一年後。ご期待ください。

2001年／東京玉翠会第19回総会 幹事担当  
高高52年卒 有志一同

きれいな、瀬戸内海が好きです。



日立プラント建設は、「ベガサス」で  
水環境保全にご協力します。

特長

- 処理時間は従来の1/2。(当社比)
- 低水温でも窒素除去効果が安定。
- アルミ添加同時凝集法との組み合わせで  
リンの除去も可能。

※「ベガサス」は、建設省総合技術開発プロジェクト「バイオフォーカスWT」の一環として、  
日本下水道事業団と当社が共同で開発したものです。

 **日立プラント建設**

本 社：〒101-0047 東京都千代田区内神田1-1-14 電話 (03) 3292-8111 (大代)  
関西支店：〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町1-8-12 電話 (06) 6266-1931  
四国営業所：〒760-0018 香川県高松市天神前10-12 電話 (087) 834-3662



# Total Financial Planning.

**イカリ通商株式会社**  
I.T.C.  
代表取締役：天雲 丈裕  
(昭和46年卒)

本社 〒160-0007 東京都新宿区荒木町11-24イカリ四谷ビル3F  
営業部 〒160-0007 東京都新宿区荒木町5-4クサフカビル3F ☎03-3226-7550  
大森支店 〒140-0013 東京都品川区南大井6-17-10大森レインボービル201 ☎03-5763-1801

## ANABUKI

マンションはサービス  
**SURPASS**  
ANABUKI

イメージキャラクター  
あなぶきたちやん



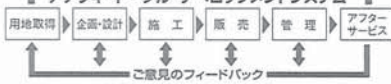
これからも、  
ずっといっしょに。

快適な暮らしをカタチづくるために、私たちができること。  
それは用地取得から、施工・販売、アフターサービスにいたるまで  
全部自社で行なうことで、実現します。  
より良い住まいを妄想し、お客様にサービスをお引き渡しした後もスムーズで、  
きめ細かいアフターサービスを行なっていく——  
『マンションの鍵をお渡した時から始まる、お客様との本当のお付き合い』を。  
これからもいつまでも心地いい住まいを保つために、  
穴吹工務店は続けていきます。

### ATD SYSTEM

アナブキは用地取得からアフターサービスまで  
自社一貫システムで住まいを提供しています。

#### アナブキ・トータル・デベロップメントシステム



快適な暮らしを創る

**穴吹工務店**  
ANABUKI

＜設計・施工＞建設大臣許可(特-9)第1478号 宅地建物取引業免許建設大臣(9)第1545号(社)日本高層住宅協会会員(社)日本リゾートクラブ協会会員 本社 〒760-8520 香川県高松市南町1-11-22 TEL: (087) 835-7111 (代) / 東京本社 〒104-8478 東京都中央区八重洲2-1-1 八重洲エフビル TEL: (03) 3517-2800 (代) 支社 関東・関西・中国・四国・九州・北海道・中部・北陸・東北・近畿・北陸・長野・群馬・山梨・金沢・京都・大阪・岡山・広島・徳島・松江・下関・久留米・佐賀・ミサホーム事業部 支店 高松・丸亀・新居浜・松山 / 営業所 観音寺・今治・大洲 / 建設事業部 支店 広島・高松・松山 / 営業所 岡山・福山・丸亀・新居浜・徳島・高松・福岡

穴吹工務店ホームページアドレス <http://www.anabuki.co.jp>

## 岡田輝彦 公認会計士 事務所

所長 岡田輝彦  
(高中44回卒)

☎03(3263)0856 (代表)  
FAX 03(3230)4494

〒102-0083 東京都千代田区麴町1丁目3番地 (麴町1丁目3番地ビル)

心のふれあい 技術のかけはし

## 極東産業株式会社

取締役会長 中村文俊 (高中50回卒)

- 装置・機械 (汙過機・攪拌機・熱交換器)
- 設備機器 (タンク・パイプ・伸縮継手等)
- 防蝕ライニング ■エンジニアリング・工事

本社 東京都港区新橋5-10-5  
☎03-3433-4761  
青山分室・中部支店・京葉支店

国指定重要文化財8棟・香川県高松市指定文化財9棟  
屋島山麓の四国民家博物館  
SHIKOKU MINKA MUSEUM  
高松市屋島中町91 087-843-3111

## 四国村

《お食事処・休憩所》



●「わら家」  
名物「たらいうどん」  
が自慢の手打ちうどん  
の店。  
☎087-843-3115



●異人館  
明治建築のモダンな  
欧風2階建の喫茶・民  
芸品店。  
☎087-843-3114

素晴らしい自然と人々の暮らしの歴史に出会える里。

## 近藤和彦会計事務所

税理士

近藤和彦

(高高30年卒)

〒110-0005 台東区上野5-15-12 原ビル4F

☎ 03-3835-0025

日本筆跡診断士協会(会長 森岡恒舟 高高27年卒)

理事・認定筆跡診断士

久保醇治(高高27年卒)

〒195-0061 東京都町田市鶴川4-28-16  
TEL&FAX042-735-3646

本部 〒113-0034 文京区湯島3-8-9 松本ビル  
TEL:03-3837-7531 FAX:03-3837-7621

## 珪素産業株式会社

取締役社長 宗本徳禪

(高中37回卒)

東京都杉並区成田西1-17-8

☎ 03(3313)6505

## (財)社会経済生産性本部

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-1-1

☎ 03-3409-1110



東京玉翠会会員の方を対象に、  
海外旅行商品LOOK JTBを**5%OFF**にて  
ご案内いたします。  
お気軽にお問い合わせ下さい。  
お申し込みの際には「東京玉翠会会員」の旨お伝え下さい。

**JTB海外旅行虎ノ門支店**  
東京都港区虎ノ門1丁目26番地5号 虎ノ門17森ビル7階  
営業第4課・池内グループ 出野(いでの)、札幌(ふたば)、池内  
☎03-5512-0510

瀬戸の海を渡って 新鮮な心のふれあいがあるリーガホテルゼスト高松



RIHGA HOTEL ZEST  
TAKAMATSU

リーガホテルゼスト高松

〒760-0025 香川県高松市古新町9-1 ☎(087)822-3555 FAX(087)822-7516

株式会社 ゼスト

代表取締役社長 槇田 實(昭和42年卒)



## 祝

## 第18回東京玉翠会総会開催

東京晩翠部会

下水道設計・土木設計・測量調査

## 日新技術株式会社

代表取締役

恵比須 忠

(S42年卒)

本社 〒160-0023

東京都新宿区西新宿7-17-6 第3和幸ビル  
TEL 03-3371-5991 FAX 03-3371-5994  
札幌事務所・仙台事務所・広島事務所・福岡事務所

## 藤井法律事務所

弁護士 藤井 富弘

(高高26年卒)

〒105-0004 東京都港区新橋1-18-12 新橋1丁目ビル3階

TEL (03)3593-7605

FAX (03)3593-7607

# (株)フジカナエ

代表取締役 藤本 烈 (高高30年卒)

東京事務所 〒107-0052 東京都港区赤坂9-2-11-204  
TEL 03(5410)0222 FAX 03(5410)0224

情・報・イ・キ・イ・キ

情・報・イ・キ・イ・キ

情・報・イ・キ・イ・キ

情・報・イ・キ・イ・キ

情・報・イ・キ・イ・キ

情・報・イ・キ・イ・キ

## 西日本放送株式会社

高松本社 〒760-8575 高松市丸の内番15号 ☎(087)826-7333  
岡山本社 〒700-0971 岡山市野田3丁目2番5号 ☎(086)244-0111



— 本場の味をご家庭に —

## きぬきうどん



ご注文方法

●電話の場合 ☎0120-49-6110

●FAXの場合 FAX 0877-49-6110

JR四国グループ



〒769-0203 香川県綾歌郡宇多津町浜三番丁36-2  
TEL (0877) 49-6111 FAX (0877) 49-6110

県民とともにあゆむ郷土の新聞

## 四国新聞社

本社●高松市中野町15番1号 TEL (087) 833-1111  
四国新聞購読のお申し込みはフリーダイヤル ☎0120-084459



なつかしいあの味に出会えます。



〒160-0023 新宿区西新宿1-15-9  
物沢ビル2F-3F  
TEL.03-3342-8889  
●営業時間11:00~23:00  
年中無休



息遣いがかんばっています。  
ご声援下さい。

大藪恵弘 (高高34年卒)

心から心へ。笑顔から笑顔へ。  
確かな技術とノウハウで、  
人と街を心豊かに彩ります。



さぬきビアフェスタ (高松中央公園)

テント工事全般・式典イベント・機織産業用資材

## 株式会社 イシハラ

代表取締役 石原 英輝

本社/〒761-8014 高松市香西南町358-1  
TEL.(087)882-2231 FAX.(087)882-8822  
営業所/高松営業所、丸亀営業所

石原英輝 (昭和34年卒)・『讃志会』(昭和34年卒) 事務局  
石原久子 (昭和38年卒)・石原裕三 (昭和62年卒)・石原加奈子 (平成2年卒)

ワンランク上のビジネスに、プライベートに。  
ホスピタリティあふれる  
快適空間をご用意しております。

## ホテル コスモ横浜 HOTEL COSMO YOKOHAMA

〒220-0004 横浜市西区北幸2丁目9-1 (横浜駅西口彫刻通り)  
TEL.045 (314) 3111 FAX.045 (316) 1600  
URL: <http://www.hotel-cosmo.co.jp/>



東りは真の環境対応壁紙を目指し、  
ファイブスター  
5つ星コンセプトに基づいた「環境壁紙1000」を提案します。



## TOLI 東り株式会社

東京ショールーム 〒141-0022 東京都品川区東五反田5-25-19 東京デザインセンター4F TEL.03(5421)3711

[URL] <http://www.toli.co.jp>

通信・設備・土木工事で  
四国のインフラを支える企業

快適生活提供企業=ハートフル“カナック”



代表取締役社長 大西 大介 (昭和35年卒)

地元(香川)で働いてみませんか

詳細についてはホームページ、  
または電話で確認して下さい。

〒761-0492 高松市三谷町136番地  
TEL(087)889-8111 FAX(087)888-1115  
ホームページ <http://www.kanac.co.jp>  
E-mail [info@kanac.co.jp](mailto:info@kanac.co.jp)  
担当 総務部 阿部



熊谷組

四国支店 香川県高松市中央町16-16  
〒760-0007 TEL 087-862-2012



Sanyo Original

ビクルス、テーブルオリーブ他、地中海食材

おいしい情報発信中!

<http://www.so-food.com>

児玉 光三 (昭31年卒)  
児玉 英二郎 (昭34年卒)

本社 〒760-0068 高松市松島町1-13-14  
TEL. 087(833)7011  
営業本部 〒102-0076 東京都千代田区五番町4-16  
TEL. 03(3288)1181  
大阪定業支店 〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-6-16  
TEL. 06(6300)1320

おいしさは、いつもオリジナル。  
讃陽食品工業株式会社

祝

東京玉翠会第18回総会

高松高校50会有志一同

創ろう・暮らそう・快適空間

中山産業株式会社

昭和40年卒 中山 隆司

昭和41年卒 中山 艶子

〒761-0101 高松市春日町1640-3  
TEL (087) 841-7800 (代)  
FAX (087) 841-8900

会計・税務、システムコンサルティング  
事業承継対策、パーソナルリスクプランニング  
各種経営相談・経営支援

三和会計事務所  
(株)ブレインネットワーク

米田 守宏 (高高52年卒)

高松市藤塚町1丁目2番1号  
アップライトビル7F  
TEL:087(862)6790 FAX:087(863)6520  
E-mail:morihiro@mx7.mesh.ne.jp

三越カード(さくらUC提携)  
会員様の中から抽選で

2001名★2001年  
ヨーロッパの旅  
ご招待!

入ってお得! 使ってお得!  
三越カードキャンペーン

〈ロンドン・パリ・ローマ・マドリッドから〉  
お好きな1都市に4泊6日

8月31日(木)までキャンペーン実施中  
三越カードで5万円+UCで5万円お買上げの方が対象  
●詳しくは三越カード受付カウンターにて



MITSUKOSHI  
高松 〒760-0039 高松市西町7-1  
TEL:087-651-5151(大代) <http://www.mitsukoshi.co.jp/>

Hosokawa  
Brand Consultants & Designers

事業内容  
ブランド創造に関わる 戦略的デザイン及び  
イメージ管理関連のアイデンティティ  
コンサルティング・デザイン開発

株式会社ホソカワアソシエイツ

クリエイティブディレクター  
細川 和孝 (41年度卒)  
デザインコーディネーター  
細川 真由美 (51年度卒 旧姓川村)

104-0051  
東京都中央区佃 2-1-1-1211  
センチュリーパークタワー  
[hosokawa1211@aol.com](mailto:hosokawa1211@aol.com)  
090-4388-4545 : cellular  
03-5547-3535 : phone/fax

Creating & Building Brand Power

## 大西昭一郎法律事務所

弁護士

### 大西昭一郎

(高高33年卒)

千代田区丸の内3-1-1国際ビル829区  
TEL 03-3212-0841 (代表)



株式会社エイデザインセンター  
TEL 03-3809-0591



井上美術印刷株式会社  
TEL 03-3819-0821 (代)

代表取締役 井上 榮 (高高33年卒)

〒116-0001 東京都荒川区町屋1-4-9 FAX 03-3895-5367

技術は蓄積されて、  
生かされる。

「高級建築の最前線」で

頑張っています。

本 社 〒114-0014 東京都北区田端1丁目23番16号/電話 03-3823-3161(代)  
浦和支店 〒336-0021 埼玉県浦和市別所7丁目3番2号/電話 048-862-3211(代)

創業1933年・設立1944年



## 岩本組

代表取締役 藤澤恒代 (S23年卒)



皆様のフレキシブルコミュニケーションパートナー

総合広告代理店  
**株式会社オリコ**

〒760-0066 高松市福岡町4丁目1番4号  
TEL(087)851-4151(代) FAX(087)851-4157  
代表取締役社長 間島 賢治 (高高47年卒)

## ACE

株式会社 エースシステム

代表取締役 河野 猛 (高中54回卒)

取締役 上野 準一 (高高昭和43年卒)

本 社 / 〒761-8014 高松市香西南町473-1  
TEL.087-882-8221 FAX.087-882-1003  
東京営業所 / 〒105-0013 東京都港区浜松町1-23-2 (山下ビル8F)  
TEL.03-3436-3792 FAX.03-3436-3791

## 尾路医科器械株式会社

代表取締役社長

### 尾路 豊暢

(S50卒)

高松市中野町12番6号  
TEL (087)862-6381

フルデジタルシステム化により  
様々なニーズにお応えする  
フレキシブルで確実な  
パフォーマンスを提供します

## 新日本印刷株式会社

〒104-0045

東京都中央区築地2丁目1番16号  
TEL. (03) 3543-6000



取締役社長 富塚 靖輔  
(昭和37年卒)

本 店 大阪市西区立売堀4丁目5番15号  
☎ (06) 6541-5351(代)  
本 社 高松市朝日町5丁目2番3号  
☎ (087) 821-1181(代)  
支 店 福岡・岡山・広島  
営業所 丸亀・新居浜・松山



取締役社長 富塚 靖輔  
(昭和37年卒)

本社・工場 高松市朝日町5丁目2番3号  
☎ (087) 822-1181(代)  
丸亀事業所 丸亀市蓬萊町6番地  
☎ (0877) 24-2312(代)  
東京営業所 東京都中央区八丁堀2丁目  
14番6号青柳ビル  
☎ (03) 3553-5521(代)

日立特約店

HITACHI

株式会社

# サンキ

〒761-8582 香川県高松市郷東町468番地1  
TEL (087) - 882 - 2121

## ソフトウェアジェネレーション(株)

代表取締役 本村 昭二 (高高32年卒)

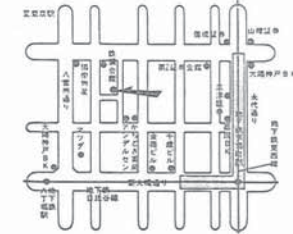
〒102-0051 千代田区神田神保町3-10-2 共立ビル  
TEL 03-3234-5638

鳥 とりにか 仲

### 仲野 京子

(高高38年卒)

東京都中央区日本橋茅場町3-2-3  
邦山堂ビル  
TEL(3661)8748



内装工事(トータルインテリア)

## 株式会社 トミタ

富田 正生 (昭和30年)  
香川県高松市田町3-24  
TEL 087 (834) 1153  
FAX 087 (862) 8870

## HACL 平川音響株式会社

NTT 特約店  
NTT テレカ代理店

取締役総務部長 平川 峰子 (42年卒)

〒169-0072 東京都新宿区大久保2丁目12番12号  
TEL. (03) 3232-3001  
FAX. (03) 3232-8110

E-mail アドレス mineko-h@hacl.co.jp ホームページ http://www.hacl.co.jp  
画像通信、監視カメラシステム等お気軽にご相談下さい。



## 別冊宝島は同窓会でもお役に立ちます。

たとえば2次会の盛り上げりに別冊宝島517号「GOコンGOゴー」などいかがでしょうか。なんでもありのワンテーマムック、使えます。

別冊宝島編集長 松下光志 (52年卒)

外科・肛門科・胃腸科・内科・循環器科  
整形外科・麻酔科 (前田典子・島田潤子)・リハビリテーション科

医療法人ハ **前田病院**  
和光会ゼ

高松老人保健施設 フローラ

高松市東ハゼ町824栗林公園●1km・琴電バス鹿角●ハゼバス停前  
☎高松(087)865-7111 (代表) フローラ☎(087)865-2600

理事長 前田雅彦

副院長 前田典子 (S47年卒)

副院長 島田潤子 (S43年卒)



**太田製薬株式会社**

埼玉県大宮市三条町51番地

TEL 048(623)3111 FAX 048(622)0691

代表取締役会長 渡辺 和彦 (昭和46年卒)

## 石川税務会計事務所

税理士 石川肇久 (昭和46年卒)

〒160-0007 東京都新宿区荒木町11-24  
イカリ四谷ビル3F

TEL.03(5362)5468 FAX.03(3355)2050

ホームページ <http://home9.highway.ne.jp/d-tax/>



ご宴会の予約 承ります (4名以上~500名)

恵比寿ガーデンプレース、新有楽町ビル プリアン、さがみ、両国ピアステーション など

## エス・アール企画 (株)

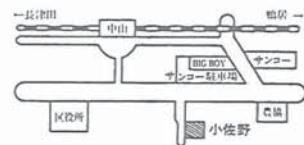
代表取締役 中村 米雄 (高高32年卒)

TEL.03-3568-7781 FAX.03-3568-7780

## 小佐野歯科医院

小佐野 千重子 (45年卒)  
(旧姓 林)

〒226-0011 横浜市緑区中山町68-1  
TEL (045) 934-3003



阿部・井窪・片山法律事務所

弁護士

**伊藤 尚**

(昭和52年卒)

〒104-0028 東京都中央区八重洲2丁目8番7号 福岡ビル9F  
電話 03(3273)2600(代表)  
FAX 03(3273)2033

祝

## 東京玉翠会 第18回総会

香川県職員有志一同



香川トヨペット

〒761-8014 香川県高松市香西南町577-2  
TEL (087) 882-5555

代表取締役 灘波 博司 (昭和58年卒)

取扱車種：セルシオ・ソアラ・プログレ・マークII・プレミオ・ブラッ  
クオリス・カルディナ・イプサム・オーバ・ハリヤー・キャ  
ミグランドハイエース・ツーリングハイエース・ハイエース  
トヨエース (1.0L~3.5L)・コンフォート



<http://www.sansai.co.jp>

Kagawaken Takamatsui Minamisinmachi 11-1  
TEL 087-861-5430

## 城北建設株式会社

高松市郷東町796-122  
TEL (087) 881-5689  
FAX (087) 881-5464

代表取締役 細谷 芳久



\*\*\* Sincerity \*\*\* Love \*\*\* Harmony \*\*\*

## 株式会社クリーンエンジニアリング

高松市昭和町1-8-19  
TEL (087) 861-5832  
FAX (087) 862-5848

快適生活を創造する総合設備プランナー

## 昭和工業株式会社

代表取締役 新池 省三

本社  
高松市西宝町3丁目1番11号  
TEL (087) 861-2881(代)  
FAX (087) 862-1285

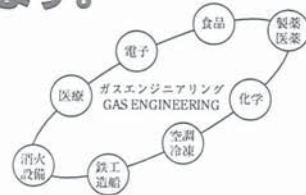
徳島営業所  
徳島市八万町犬山87番地8号  
TEL (088) 669-2618  
FAX (088) 669-3156

EIKOSHA  
**(株) 精五舎**

本社/高松市天神前5番22号  
TEL (087) 898-8008(代)

営業所/高松本店・大阪・岡山  
徳島・三木工場

**ガスエンジニアリングが  
21世紀を  
創ります。**



**高松帝酸株式会社**

**独創技術と豊富なキャリアで  
多彩な分野でお手伝い!**

〔製品〕各種シート、印刷自動検査システム

代表取締役 平田 喜六  
(昭和33年)

**FUTECH** ■本社  
〒761-0301 高松市林町1217番地  
TEL 087 (867) 9691  
■QCインライン研究所  
〒761-0301 高松市林町2217-5  
TEL 087 (869) 3411  
**株式会社ヒューテック** ■支社 東京、東海、西部  
■営業所 仙台、横浜、名古屋  
■海外 FIC (米国)  
FEL (英国)

*Digital Development  
&  
Interactive Media Design*

**HyRock**

- ゲームソフトプログラミング
- CD-ROM企画・制作・デザイン
- ホームページ企画・制作・デザイン

有限会社ハイロック 小山宏記 (高高53年卒)  
154-0071 東京都渋谷区本町2-33-20-404  
TEL03-5334-7595 FAX03-5334-7596  
E-mail : koya@verde.co.jp

伝えたい心を育てる



**英会話・翻訳・企業研修**

言葉は心を伝える道具です。  
皆様ご自身がその道具を上手に使いこなせるよう  
お手伝いいたします。

日本全国どちらでも承ります

有限会社ベアーズコミュニケーションズ  
本部 つくば市梅園2-25-18  
tel/fax 0298-58-0208  
代表取締役 奥村 真知 (50年卒)

<http://www.tins.ne.jp/~bearscommu/>

**高高35年卒**

**松木 恭一**

税理士 山口 修 会計事務所

税理士  
**山口 修**  
(高高33年卒)

事務所 東京都北区赤羽1-37-13  
城北ハイツ 205  
TEL 03-3903-4111



〒761-8056  
香川県高松市上天神町768-2  
TEL(087)867-1111(代)  
FAX(087)867-8762

福祉用具・介護用品のレンタル・販売

**ECOL**

ホームヘルスケア・サービス/エコール

事業部流通センター  
香川県綾歌郡綾南町4343-6  
フリーダイヤル 0120-006500

エコール高松店・エコール徳島店  
エコール松山店・エコール高知店  
新居浜出張所・中村出張所

**株式会社 トーカイ** シルバーサービス事業部  
TOKAI

●自己実現へのロマン——いま、手軽なものに。  
**自分史出版のご案内**

専門家や、技術スタッフ陣が  
あなたの本づくりをゆたかに演出します。  
東京支社長 池上 晴英 (S45卒)

**株式会社 美巧社** 総合印刷・出版

東京支店 ●東京都文京区小石川12-2-14 ☎(03)3813-8231 FAX(03)3813-8234  
本社 ●香川県高松市多賀町1-8-10 ☎(087)833-5811 FAX(087)834-1264  
坂出支店 ●香川県坂出市旭町3-1-28 ☎(08774)8-1005 FAX(08774)8-1005  
INEX事業部 ●香川県高松市常盤町2-6-17 ☎(087)831-0881 FAX(087)833-9839

**株式会社 ジャストシステム**  
JUSTSYSTEM

代表取締役専務 **浮川 初子**  
(旧姓：橋本 高高44年卒)

東京支社/〒107-8640 東京都港区北青山1-2-3  
TEL 03-5412-3900 FAX 03-5412-3910  
徳島本社/〒771-0189 徳島市ブレインズパーク  
TEL 088-666-1000 FAX 088-666-1010


株式会社 **C.S.S** 技術開発

代表取締役 **高城 雄三** (高高45年卒)

◆営業内容 [ 基準点測量、現況測量、出来形測量、現場測量  
測量コンピュータ販売、測量機器レンタル・販売 ]

本社 〒206-0014 東京都多摩市芝田1251 サークビル  
TEL0423-73-1292(代) FAX0423-73-2330  
札幌営業所 〒064-0914 札幌市中央区南十四条西6丁目 行啓通りビル  
TEL011-511-2831 FAX011-552-2141  
高松営業所 〒761-8058 高松市勸使町1205 TEL087-865-3744

|  |   |
|--|---|
|  <p>株式会社エムビーエム<br/><b>MBM</b><br/>香川県高松市高松町2171-3 〒761-0104<br/>TEL.087-841-2241代 FAX.087-843-5638<br/>E-mail/mbm_ta@mb.kagawa-net.or.jp<br/>代表取締役社長 三木 美 國</p> | <p><b>大川タクシー株式会社</b></p> <p>代表取締役社長<br/>佐藤 佳文</p> <p>高松本社 高松市西の丸町2-21 (JR高松駅前) 〒760-0021<br/>TEL (087) 851-3358 FAX (087) 821-4070</p>                      |
| <p>池田酒類販売(株)</p> <p><b>池田酒造</b></p> <p>高松市福岡町3-1-25<br/>TEL.851-9046<br/>池田 善 則</p>  | <p>記念品・賞状・贈答品・のほり<br/>バッジ・カップ・トロフィー・旗</p> <p>有限会社 <b>伊藤久芳堂商会</b></p> <p>TEL (087)851-3666<br/>FAX (087)851-5305<br/>高松市御坊町10-18</p>                         |
| <p>横山 桂子<br/>(秋篠桂子)</p>  <p>有限会社 <b>秋篠企画</b><br/>〒104-0061 東京都中央区銀座8-6-23<br/>丸源第25ビル7F<br/>☎ 03-3572-6377</p>  | <p><b>鮎滝カントリークラブ</b></p> <p>香川県香川郡香川町東谷259-1<br/>TEL.0878-97-1111</p>   |
| <p>ファクトリーオートメーションの専門商社</p> <p><b>合田商事株式会社</b></p> <p>〒761-0101 高松市春日町1706番地<br/>TEL. (087) 843-1231</p> <p>代表取締役 合田 泰男 (昭和44年卒業)<br/>取締役社長 合田 武 (昭和32年卒業)</p>  |  <p><b>四国機器株式会社</b></p> <p>本社/香川県高松市観光通2丁目2-15<br/>Tel. 087-833-9111</p> |
| <p>歴史に名高い駈込寺</p> <p>〒247-0062 神奈川県鎌倉市山ノ内一三六七<br/>TEL 0457-(11)一六六三<br/>井上 米輝子<br/>(S45年卒)</p>  |  <p><b>立野省一法律事務所</b></p> <p>高松市磨屋町5-8<br/>TEL 087-822-6100</p>          |

|  |   |
|--|---|
| <p><b>梶谷総合法律事務所</b></p> <p>弁護士<br/><b>関 正 晶</b> (高高49年卒)</p> <p>〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-5-1<br/>新丸の内ビルディング 4F136区<br/>電話 03-3212-1051 (代表)</p> | <p>岡部(株)グループ オカコー(四国) 協力会社</p> <p><b>香川交通運輸有限公司</b></p> <p>本社 香川県香川郡香川町浅野1007番地1<br/>TEL (087) 879-3105代表 FAX (087) 879-8764<br/>代表取締役 <b>黒川 一 宏</b> (昭和50年卒)</p>                       |
| <p><b>カガワ写真館</b></p> <p>高松市古馬場町8-33 ☎ 087-821-3590<br/>専務取締役 香川 祐一郎 (昭和51年卒)</p>   | <p><b>栄運送株式会社</b></p> <p>常務取締役<br/><b>北原 英 幹</b><br/>(高高52年卒)</p> <p>本 社 〒761-8031 高松市郷東町200番地1<br/>TEL 087-881-7455 FAX 087-881-7458</p>   |
| <p>株式会社 <b>カニワ トーキョ</b></p> <p>代表取締役 <b>岩井 耀子</b><br/>(高高42年卒)</p> <p>東京都港区赤坂9-6-27 カーム乃木坂<br/>TEL (03)3401-4509</p>                         | <p><b>香川ダイハツ販売株式会社</b></p> <p>本 社 高松市春日町1415-1<br/>TEL 087-841-2255</p> <p>泉谷 正紀 (50年卒)<br/>(森) 早苗 (50年卒)</p>   |
| <p>フランス菓子</p> <p><b>春風堂</b></p> <p>香川県高松市丸亀町4-7</p>  | <p><b>創業100年</b></p> <p><b>日本料理 新常磐</b></p> <p>代表取締役社長 高 関 忠 三</p>  |
| <p><b>四国通商株式会社</b></p> <p>取締役社長 三野容志郎 (昭47卒)</p> <p>〒760-0033 高松市丸ノ内4-4<br/>TEL 087-851-0011</p>   | <p><b>セキヤ法律事務所</b></p> <p>弁護士 関 谷 利 裕 (昭54年卒)</p> <p>〒760-0027 香川県高松市紺屋町3-6 アズマヤビル3F<br/>電話 087-826-3880 FAX 087-826-3881<br/>※なお7月下旬に下記に移転します。<br/>〒760-0029 香川県高松市丸亀町6-1 フェスタビル3F</p> |
|  <p>ゆたかなくらしのパートナー...</p> <p><b>四国銀行</b></p>             | <p>ふぐ料理 はも料理<br/>すっぽん料理 活魚料理 一式<br/>30名様迄の御宴会 OK</p> <p>大衆割烹 <b>ちよだ</b><br/>塩田 俊 治 (高松高校 32年卒)<br/>多摩市永山駅前 TEL0423-75-9653</p>  |

| <p><b>トヨタビスタ香川株式会社</b></p> <p>本社 〒761-8014 高松市香西南町404番地1<br/>TEL (087) 882-7121(代) FAX (087) 882-7101</p> <p>昭和34年卒 木村 大三郎<br/>昭和61年卒 廣瀬 光</p>              | <p><b>(株)辰馬製材所</b></p> <p>高松市郷東町796-45<br/>TEL 087-882-8888</p> <p>元山 賢治</p>  |   |   |       |       |   |  |   |   |
|---|---|---|---|-------|-------|---|--|---|---|
| <p>小・中・高個別指導学習塾</p> <p><b>教育工房</b></p> <p>Atelier of Education</p> <p>高松市丸亀町4-5 タカナ堂ビル4F<br/>TEL.087-851-0157 教室直通<br/>TEL.087-851-0156 事務局 萩本 (昭和50年卒)</p> | <p><b>祝</b></p> <p><b>第18回東京玉翠会総会</b></p> <p><b>高松市役所玉翠会</b></p>  |   |   |       |       |   |  |   |   |
| <p><b>(資)野田屋電機</b></p> <p>専務取締役 古川 健造 (昭和45年卒)</p> <p>高松市丸亀町1-3<br/>TEL:087-851-4545<br/>FAX:087-822-6905</p>   | <p>味と香りで一番の</p> <p><b>中屋味噌</b></p> <p>有限会社 中屋醸造所<br/>〒760-0062 高松市塩上町3丁目17番13号<br/>TEL (087) 831-3579 FAX (087) 831-3574<br/>専務取締役 中野 宰誠 (昭和50年卒)</p>   |   |   |       |       |   |  |   |   |
| <p><b>西山司朗法律事務所</b></p> <p>弁護士 西山 司朗</p> <p>〒760-0017 香川県高松市番町1丁目3番6号<br/>TEL 087-821-3373 (代)<br/>FAX 087-821-5592</p>                                     | <p>美しい生活環境のホスピタリティを目指す</p> <p><b>日本リスキン株式会社</b></p> <p>営業品目 ダストコントロール商品 ・フロアマット・モップ (フロア/ハンディ) ・空気清浄機<br/>クレンリネス商品 ・フロアワックス&amp;クリーナー ・浴室掃除機のレンタル<br/>トイレットリー用品 ・ロールタオル・ペーパータオル・芳香剤・ソープ<br/>オフィスサプライズ商品 ・コピーワックス用紙・プリンタ用トナーのリサイクル</p> <table border="1"> <tr> <th>本社</th> <th>岡山営業所</th> <th>松山営業所</th> <th>徳島営業所</th> </tr> <tr> <td>高松市西町2049-5<br/>☎087-882-7011<br/>℡087-881-2277</td> <td>岡山市豊成484-4<br/>☎086-263-4372<br/>℡086-263-4616</td> <td>松山市松末1-5-21<br/>☎089-946-3488<br/>℡089-946-1380</td> <td>徳島市八万町内浜116<br/>☎088-668-7322<br/>℡088-668-7313</td> </tr> </table> | 本社  | 岡山営業所   | 松山営業所 | 徳島営業所 | 高松市西町2049-5<br>☎087-882-7011<br>℡087-881-2277 | 岡山市豊成484-4<br>☎086-263-4372<br>℡086-263-4616 | 松山市松末1-5-21<br>☎089-946-3488<br>℡089-946-1380 | 徳島市八万町内浜116<br>☎088-668-7322<br>℡088-668-7313 |
| 本社  | 岡山営業所   | 松山営業所   | 徳島営業所   |       |       |   |  |   |   |
| 高松市西町2049-5<br>☎087-882-7011<br>℡087-881-2277   | 岡山市豊成484-4<br>☎086-263-4372<br>℡086-263-4616  | 松山市松末1-5-21<br>☎089-946-3488<br>℡089-946-1380 | 徳島市八万町内浜116<br>☎088-668-7322<br>℡088-668-7313 |       |       |   |  |   |   |
| <p><b>濱田法律事務所</b></p> <p>濱田 清 (高高32年卒)</p> <p>〒102-0093 千代田区平河町1の8の2<br/>山京半蔵門パレスビル604<br/>TEL 03-3221-6261</p>   | <p><b>宮武医院</b></p> <p>宮武 治郎<br/>(高高32年卒)</p> <p>〒192-0914 八王子市片倉町1221-26<br/>☎ 0426-36-8317</p>   |   |   |       |       |   |  |   |   |
| <p>司法書士 松井名保美 事務所</p> <p>司法書士<br/><b>松井 名保美</b> (高高49年卒)</p> <p>事務所 東京都港区芝5-30-1-407<br/>TEL 03-5484-0272<br/>FAX 03-5484-0273</p>                          | <p><b>音楽夢空間</b></p> <p><b>タマル</b></p> <p>株式会社 タマル<br/>高松市常盤町1丁目8-1 〒760-0054<br/>TEL (087) 861-2400(代) FAX (087) 837-2845</p>   |   |   |       |       |   |  |   |   |

|   |   |
|---|---|
| <p><b>(株)スミダ文具店</b></p> <p>隅田 恵美子 (昭42年卒)<br/>秀一 (昭44年卒)<br/>啓 (昭50年卒)</p> <p>〒760-0029 高松市丸亀町13-5<br/>TEL:087-851-3826 FAX:087-822-4241</p>  | <p>司法書士</p> <p><b>溝渕 正志</b></p> <p>〒760-0020 高松市錦町1丁目19番6号<br/>☎087-822-0256</p>  |
| <p>司法書士・行政書士</p> <p><b>篠畑 博文</b></p> <p>〒169-0073 新宿区百人町1丁目4番15号<br/>☎03-5287-0480</p>  | <p>公認会計士・税理士<br/>経営コンサルタント</p> <p><b>中村 秀明</b><br/>(昭和41年卒)</p> <p>〒760-0028 香川県高松市鍛冶屋町1-8<br/>TEL 087(851) 2334</p>  |
| <p>▼人と企業を活かす、それが私たちクリエです。</p> <p><b>株式会社 クリエアナブキ</b></p> <p>ANABUKI<br/>本社 〒760-0028 高松市鍛冶屋町7-12 六吹五番町ビル (087) 822-8828</p> <p>■人材サービス事業部——高松・高知・松山・広島・岡山・関西<br/>人材派遣サービス、人材紹介サービス、研修・測定サービス<br/>■トラベル事業部——高松</p> | <p>讃岐特産種子生産卸<br/>全国農園芸資材取扱</p> <p><b>株式会社 橋本種苗園</b></p> <p>高松市多賀町一丁目多賀神社前<br/>電話 (087) 831-2262(番代) FAX (087) 831-5433番</p>                                   |
| <p><b>ロイヤルパークホテル高松</b></p> <p>〒760-0052 高松市瓦町1-3-11 ☎087-823-2222</p> <p>E-mail:hotel@mail.netwave.or.jp<br/>http://www.netwave.or.jp/~hotel/</p> <p>総支配人 小島英夫 (昭46)</p>  | <p>母校のご発展をお祈り申し上げます</p> <p>51年度<br/>卒業生 <b>柴田 登</b></p> <p>マンションのことならお気軽にご相談下さい。</p> <p><b>穴吹興産株式会社</b><br/>ANABUKI<br/>tel 078-333-1115</p>                  |
| <p><b>いわけお工務店</b></p> <p>本社<br/>〒761-0101 高松市春日町1705-5<br/>phone.087-841-1040 fax.087-841-1101</p> <p>代表取締役<br/><b>三日月 善夫</b></p>   | <p><b>(株)サカエヤ</b></p> <p>取締役 木島 多加志 (昭和53年卒)</p> <p>〒760-0054 高松市常盤町1-7-1<br/>TEL 087(834)3500 FAX 087(834)0070</p>   |
| <p><b>G&amp;K</b></p> <p><b>後藤設備工業株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 後藤 伸雄<br/>☎761-8013 高松市香西東町645の1<br/>TEL/087-881-3116 FAX/087-881-0673</p>  | <p>内科・小児科・リハビリテーション科<br/>医療法人 <b>佐藤医院</b></p> <p>院長 佐藤 涼介 (旧姓 木内) (昭56) <b>223-7746</b><br/>S51年卒 往診 訪問診察 訪問看護 応需</p> <p>岡山市旭町15 (マクドナルド清輝橋店50m東二入ル・西川ベリ)</p> |

香川県高松市塩上町2丁目10番1号

## 極東物産株式会社

伊賀 裕晃

## 株式会社 ウズマキ

代表取締役社長 太巻 篤

〒761-0303 香川県高松市六条町541  
TEL 087-888-0091  
FAX 087-889-0261  
ホームページ <http://www.uzumaki.co.jp>

インターネット展開、広告・SP・イベント・印刷...etc.  
効くコミュニケーションを提供します。

# BEST PLANNING

Marketing Communication & Creative Agency

## 株式会社 ベストプランニング

代表取締役 打越 暉芳 (高高38年卒)

〒102-0074  
東京都千代田区九段南3丁目9番1号 5F  
TEL: 03-3262-5678 (代表)  
FAX: 03-3262-5567  
E-mail: uchikoshi@bp-net.co.jp



海老煎餅本舗

志海秀

本社 香川県観音寺市観音寺町甲2744-1  
工場・営業部 香川県三豊郡山本町大字大野上泥シコ2876  
TEL (0875) 63-2236代 FAX (0875) 63-2432



1902年生まれ  
こだわる事を忘れたくない服。  
私たちは、J・プレスです。

株式会社 オンワード樫山  
〒103-8239 東京都中央区日本橋3丁目10番5号 03-3272-2377

## M-M&TC

Marunishi Management and Tax Consultants

### 株式会社 丸西経営会計

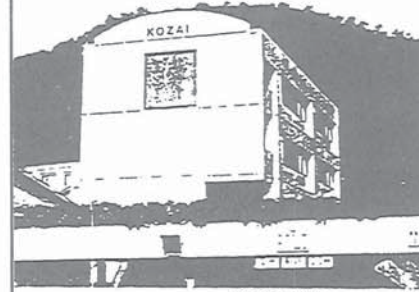
丸西税理士事務所

東京都葛飾区金町6丁目12番13号  
セザール金町304号  
郵便番号125-0042

TEL.03-5699-3111  
FAX.03-5699-3112

丸西和幸 (S43卒)

KOZAI



## 株式会社 香西工務店

香川県高松市室町1919の1 TEL (087) 867-1875代 FAX (087) 867-1882

もつと豊かでもつと素敵な  
住空間を考えています。

## 有限会社 角田米穀商店

代表取締役

角田朝則

(昭40年卒)

高松市城東町1-6-5

## 司法書士 松尾和代

(高高42年卒)

事務所 〒254-0042 神奈川県平塚市明石町13番25号 吉田ビル2F  
電話 (0463) 22-3355  
22-3376  
FAX (0463) 21-0808

## CPNet 有限会社 クリエイティブプリンティングネットワーク

坪川 千草 (51年卒)

〒115-0051 東京都北区浮間5-6-18  
TEL.03-3558-4675 FAX.03-3558-4845

今日は、ご参加いただきありがとうございました。

### 東京玉翠会第18回総会事務局メンバー (50音順)

|      |                |
|------|----------------|
| 青木佳子 | 末永彩            |
| 安藤圭子 | 鈴木木次           |
| 上原正照 | 住友友西           |
| 大喜多俊 | 辻坪川            |
| 大奥平藤 | 豊島             |
| 加藤瀬林 | 長屋田            |
| 楠小藤  | 名瀬             |
| 後佐々木 | 廣三             |
| 佐藤光  | 宮三             |
| 左光   | 八              |
|      | 末鈴住辻坪豊長名廣三宮三八  |
|      | 永木友川島屋田瀬木地好木   |
|      | 彩子次三草弓晃子一卓彦加子幹 |
|      | 満寿西敬千真政玲壮岳美盛   |

次回は、21世紀にお会いしましょう。



食べる喜び、食の楽しさを満喫し、健康な日々を  
過ごしていただけるよう、「幸せな食創り」を企業理念に  
活動続ける日本ハム。ハム・ソーセージをはじめ、  
いつも新鮮なおいしさがあふれる商品を通して、  
みなさまひとりひとりの幸福な食卓づくりをお手伝い  
していきたいと考えております。

# 人と暮らしを潤す 「幸せな食創り」。



日本ハムグループは、幅広い分野で豊かな暮らしをサポートします。

- |            |                  |          |          |
|------------|------------------|----------|----------|
| ハム・ソーセージ事業 | 加工食品事業           | 惣菜事業     | 食肉事業     |
| 水産加工品事業    | 乳飲料事業            | ドライフーズ事業 | 天然系調味料事業 |
| 保険事業       | 旅行事業             | スポーツ事業   | 外食事業     |
| 情報処理事業     | 日本ハム(株)グループ全121社 |          |          |



いい出会い ふくらむ未来

## 百十四銀行

大好きです。ふれあい笑顔が住んでる街。

「バーバパパ」ファミリーは、  
人に、街に、自然に、やさしい家族。  
私たちは、そんなやさしい人たちと  
いつも一緒に歩いていきたい。  
だから、あなたとも、  
きっと、家族ぐるみのおつき合い——。  
百十四銀行は、あなたの、ご家族の  
明るい未来づくりを、お手伝いいたします。



BARBAPAPA

スピードおさえて、100運転。シートベルトとチャイルドシートを忘れず。

simple & smart



アソブ、ハコブ、キューブ。

[ Sリミテッド登場 ]

最高の安全評価 **AAA** 運輸省前衝突安全性能試験 / キューブは最高の安全評価 助手席 [AAA] を獲得しました。

PHOTO: キューブSリミテッド (2WD・ハイパーCVT-M6) [主要諸元] 全長×全幅×全高: 3750×1610×1625 (mm) / CGA3DE DOHCエンジン / ハイパーCVT-M6 (6速マニュアルモード付無段変速機) ●お近くの日産へ ●日産車のお問い合わせセンター 相談は「お客様相談室」 ☎0120-315-232 月～金 (祝日は除く) 9:00～12:00 13:00～17:00 ●土曜日曜のお買物相談は「日産インフォメーションセンター」 ☎0120-838-232 土曜日曜 9:00～12:00 13:00～16:00

